

令和4年度

みなかみ町教育委員会点検・評価報告書

(令和3年度事業対象)

令和5年3月

みなかみ町教育委員会

目 次

1. 点検・評価の概要	1
2. みなかみ町の教育行政方針	5
3. 教育委員会会議・教育委員の活動状況	17
4. 教育委員会各事業	
学校教育課	31
生涯学習課	45
5. 学識経験者の意見等	63

1. 点検・評価の概要

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の知見を活用して点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

これに基づき、みなかみ町教育委員会では効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすことを目的として、同法の規定に基づいて実施した点検と評価の結果をまとめました。

この報告書は、教育委員会の活動について年度内の重要な施策事業について点検と評価を行うものであります。

みなかみ町教育委員会は点検と評価の実施を通じて、施策の効果的な実施と改善を図り、教育施策の着実な推進に努めたいと考えますので、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和 5年 3月

みなかみ町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

【教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等】

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象事業

対象事業は令和3年度事業とし、学校教育課、生涯学習課におけるそれぞれの重点項目事業とします。

3 点検評価の実施方法

教育委員会が行う事業の取組状況が施策と成果の報告書にまとめられています。この報告書を基とし、また教育委員会会議や教育委員の活動状況も含めた成果を、教育に関し学識経験を有する外部の皆さんに評価していただきました。

4 外部評価者

学校教育課関係 元 教 育 長		牧 野 堯 彦
生涯学習課関係 元社会教育委員 (元古馬牧小学校長)		矢 嶋 丈 久

敬称略

2. みなかみ町の教育行政方針

たくましく生きる心豊かな人々が暮らすまち

豊かな心と文化を育む

《基本理念》

みなかみ町教育委員会は、生涯学習の観点に立ち、幼児・児童・生徒並びに町民一人ひとりが夢や誇りを持つとともに、学校教育や社会教育・文化・スポーツなどを通じ、地域の貴重な歴史的・文化的資源などを活かして豊かな感性を育み、高い知性・健康な身体を培う、たくましく生きる心豊かな人々が暮らす持続可能な町を目指して教育行政を推進する。

《基本方針》

みなかみ町教育委員会は、基本理念の具体的実現を図るため、次の基本方針に沿って諸施策の推進に努める。

- I 学校教育 ……たくましく「生きる力」を育む教育 -----
 - 1 学校教育の充実
「郷土みなかみを愛し、思いやりを持って、たくましく生きる児童・生徒の育成」を目指し、教育水準の向上に努める。
「断えず考える」を生活の指針とする。
 - 2 教育環境の整備
学校教育の充実のため、小・中学校の統合を視野に入れた学校施設・設備や人的環境等の計画的な整備に努める。

- II 生涯学習・文化・スポーツの振興 ……豊かなライフ・ステージ -----
 - 1 生涯学習の充実
生きる喜びに満ち、心の豊かさと学ぶ意欲に溢れた生涯学習社会を目指し、生涯学習推進体制の整備・充実に努める。
 - 2 社会教育の充実
町民の学習意欲の高揚や青少年の健全育成を図るため、関係機関・各種団体と連携し、団体の活動や青少年教育の充実に努める。
 - 3 スポーツ活動の充実
町民の生きがいと健康増進のため、みなかみ町スポーツ推進計画に基づき、軽スポーツの普及や地域に根ざしたスポーツ、競技スポーツの振興を図るとともに、施設・設備の整備に努める。
 - 4 文化振興と文化財の保存と活用
町民の文化振興に関する意識を高めるため、誰もが楽しめる地域の文化活動を推進するとともに、関係機関と連携した文化財の保存と活用に努める。

《主な施策》 ※下線は今年度の重点

I たくましく「生きる力」を育む教育

1 学校教育の充実

(1) 学校経営の充実

① 特色ある学校づくり (カリキュラム・マネジメント)

ア 校長の経営ビジョンの確立とリーダーシップ

- ・管理職の人材育成能力の向上と職員の組織体制の確立

イ 課題を明確にした、適切な教育課程の編成・実施・評価・改善

- ・子ども、学校、地域の実態の適切な把握

・新学習指導要領の確実な実施

- ・教科等横断的な視点からの組立

ウ 地域に根ざした多様な教育活動の展開

・ユネスコエコパークに関わる様々な教育活動の展開

- ・地域資源の教育的活用 (人・物・自然、ユネスコスクールの視点等)

- ・家庭・地域との連携の強化

- ・学校支援センターの充実

エ コミュニティ・スクールの推進

- ・新治小学校へのモデル的導入

オ 「断えず考える」の精神を生かした教育の実践

- ・探究的活動、主体的に考え粘り強く取り組むこと 等

② 幼・小・中連携教育の推進

ア 小・中学校間、こども園・小学校間の円滑な接続 (不登校の未然防止)

- ・行事、授業、体験活動等を活用した異校種間の児童・生徒の交流

- ・小学校高学年の教科担任制

- ・英語4技能スキルアップ事業の成果を生かした小中連携授業やALTを活用した英語教育・外国語活動の充実

- ・教員の異校種間交流の推進

- ・地区別推進委員会の充実

イ 小・中学校9年間を見通した教育課程の研究

(英語、総合的な学習の時間、キャリア教育、ICT活用等)

③ 学校評価システムを活用した、組織的で、計画的・継続的な経営改善

④ 新型コロナウイルス感染症に係る安全対策と学びの保障

(2) 学力の向上

① 学習指導の充実

ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現

- ・培う力を明確にした探究型授業 (課題意識、個の追究、学び合い、まとめと振り返り) の徹底

- ・的確な学習状況の把握と個に応じたきめ細かな指導 (指導と評価の一体化) の充実

- ・ICTを活用した学習活動・家庭学習の充実 (一人一台端末等の活用促進)

イ 組織的な取組の充実

- ・学力向上計画の徹底、特配と学力向上コーディネーターの有効活用

- ・意図的・計画的な家庭学習の出題と確認の徹底
- ・学力検査等の結果分析と改善策を生かした授業の改善
- ・読み書き計算の徹底
- ウ 英語教育・外国語活動の充実（英語力の向上）
 - ・小・中学校の連携教育
 - ・ALTの全校配置の検討
 - ・英語検定補助制度の利用拡充

（３）教職員の資質の向上

① 教職員研修の充実

- ア 校内研修の内容及び方法の改善・充実
- イ 各種教員研修の充実（初任研、経験者研修、へきセン等）
- ウ 個人の研究課題による研修（自己研修）の充実
- エ 一人一研究授業の実践及び「はばたく群馬の指導プランⅡ」等の活用
- オ 三国会の研修の充実（小・中連携教育の推進・資質向上・異校種間交流）
- カ ICTに関する研修、eラーニングの活用

② 教職員の心身の健康管理

- ア 温かい職場づくり（互いに学び合い・支え合い、組織で取り組む）
- イ 労働安全衛生管理体制の充実
- ウ 教職員の業務改善・意識改革につながる取組の推進
 - ・「教職員の勤務時間の上限に関するガイドライン」の遵守、部活動の適切な実施
 - ・校務支援システムの有効活用

③ 教職員の服務規律の確保（教育者としての使命と責任の自覚）

- ・服務規律行動計画の周知・徹底

（４）心豊かな児童・生徒の育成

① 道徳教育の充実

- ア 「考え、議論する道徳」に向けた授業改善
- イ 体験活動、諸行事等との関連を意図した指導の充実
- ウ 道徳教育推進教師を核にした組織的な取組（量的・質的確保）
- エ 他者を思いやる心、郷土を愛する心、生命を尊重する心、自立心や自律性の育成
 - ・あいさつの励行（おもてなしの心・明るい町）
 - ・体験活動等を通じたふるさと学習（ボランティア、みなかみ町の自然体験等）
 - ・自殺予防（SOSの出し方授業、受け止め体制等）
- オ 情報モラル教育の推進
- カ 家庭・地域との連携による徳性の涵養

② 生徒指導の充実

- ア 自己肯定感・自己有用感を育てる指導の実践（個性の伸長）
 - ・全教育活動（授業、部活動、諸行事、学級活動、児童会・生徒会活動等）を通じた指導
- イ いじめ対策・不登校対策（未然防止・早期発見・早期対応）の充実
 - ・誰もが居場所のある温かな学級・学校づくり

- ・子ども主体のいじめ防止活動等の充実
- ・小中連携による中学校区ごとのあいさつ運動の展開
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等を活用した教育相談の充実
- ・適応指導教室（リエントリールーム）の充実
- ・家庭・地域・関係諸機関・団体等との連携

③ 安全教育の充実

- ア 3領域（生活安全、交通安全、災害安全）の指導の徹底
- イ 家庭、地域、関係機関等との連携の充実

④ 人権教育の推進

- ア 全体計画・指導計画に基づく実践の充実と評価・改善
- イ 全教育活動を通じた人権尊重の精神の育成
 - ・人権啓発活動の推進（人権作文・人権ポスター等）
 - ・「いじめを出さない」日常の指導といじめ防止子ども会議等の充実
 - ・児童会・生徒会等、児童・生徒の主体的活躍の推進
- ウ 人権擁護委員等との連携

⑤ 福祉・環境教育の充実

- ア 全教育活動を通じた福祉・環境教育の充実
- イ 福祉・環境問題への具体的実践
 - ・あいさつ運動
 - ・ボランティア活動の推進（地域の花植え、老人ホーム慰問、ゴミゼロ運動等）
- ウ みなかみユネスコエコパークの推進（地域資源の教育的活用）
 - ・持続可能な開発のための教育（E S D）とユネスコスクール活動の推進
 - ・谷川岳エコツーリズム、環境学習発表会、赤谷プロジェクト等の活用（SDGsの「15陸の豊かさを守ろう」の意識化）

⑥ 読書活動の推進

- ア 学校図書館の充実
 - ・貸出冊数や読書時間の増加及び学校図書館の環境整備
 - ・児童・生徒の図書委員会の活動
 - ・図書館司書教諭の積極的活用
- イ 家庭における読書のすすめ

（5） 健やかな体の育成

- ア 児童・生徒の体力の向上
 - ・体力向上プランを活用した組織的な取組
 - ・教科体育、体育的行事の充実
 - ・朝活動や放課後時間の活用の工夫
 - ・健康づくりへの意欲と安全意識の高揚に関する指導の充実
 - ・適正な運動部活動の実施、外部指導者及び地域スポーツ団体等との連携
 - ・部活動指導員の活用
 - ・社会体育の活用と充実

- イ 児童・生徒の心身の健康の保持増進
 - ・ 基本的生活習慣の確立
 - ・ 各種調査結果の効果的活用（肥満、虫歯、視力の低下等への対策）
 - ・ 健康診断の実施と事後指導の充実
 - ・ 食育による正しい知識と望ましい食習慣の推進
 - 家庭と連携した「お弁当の日」の活用
 - 学校給食における地産地消の推進
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底（感染予防と心のケア等）

(6) キャリア教育（進路指導）の充実

- ア 地域や小・中学校の実態を踏まえたキャリア教育の年間計画の作成と実践
 - ・ 地元企業等を活用した職場体験、体験入学等の啓発的体験的活動の充実
 - ・ 地域の人材資源等の活用
- イ 特別活動の学級活動を要とした、学校の教育活動全体を通じた指導
- ウ キャリア・パスポートの作成・活用
- エ 進路相談の計画的な実施
- オ 中学生海外派遣事業の充実

(7) 特別支援教育の充実

- ア 乳幼児から成人期までの支援システムの実践
 - ・ 町教育支援委員会の充実（専門家チームの活用）
 - ・ 通常学級における指導の研究と改善
 - ・ 支援員等の適切な配置・活用
- イ 特別支援学級及び通級指導教室の指導の充実
- ウ こども園・小・中学校間の交流と連携の強化
- エ 子育て健康課など地域関連機関との連携推進

(8) 幼児教育の充実

- ア 適切な教育課程の編成・実施・評価・改善
 - ・ 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を踏まえた、環境の構成と援助
- イ 「思いやりのある子」を育てる教育の充実
- ウ 保育教諭等の資質の向上
 - ・ 園内研修の充実
 - ・ 研修会への参加
- エ こども園・小学校との連携
 - ・ 特別支援教育の充実
 - ・ 小1プロブレムの解消
- オ 町教育支援委員会との連携

2 教育環境の整備

(1) 環境整備

- ア 安全・安心の確保
 - ・ 教育施設・設備等の安全確保
 - ・ スクールバスの安全運行・通学路の安全確保（交通安全、不審者・鳥獣対策）

- ・校内生活での安全・安心の確保
- ・食の安全確保…食物アレルギーへの対応
- ・地域との連携(安心安全・育成協議会「見守り隊」や「110番の家」の活用)
- イ 防犯、防災など安全対策の充実
 - ・災害対応マニュアルに基づいた体制整備(台風、地震、大雪、大雨等)
 - ・自らの命は自らが守る教育(危機管理能力の育成)の推進
 - ・学校・家庭・地域が連携した防災教育の推進
 - ・避難所施設としての初動体制の整備及び関係機関との連携強化
- (2) 国際理解・交流学習の推進(人間関係力・自己有用感の育成)
 - ・中学生海外派遣事業の検討
 - ・小学生奄美市笠利町との青少年交流事業への参加
 - ・文化芸術による子供の育成事業への参加(劇団「風」との交流)
 - ・藤原小・中と水上小・中の合同学習、リモート交流の計画的実施
- (3) 教職員等の人的環境整備
 - ア ALTの適切な配置(小・中学校での英語教育の充実、小・中連携教育)
 - イ 特別支援教育に係る補助教員兼支援員・介助員等の適切な配置
- (4) 小・中学校の統合の推進
 - ア 各中学校の閉校とみなかみ中学校開校に向けた取組の推進
 - イ 月夜野地区小学校の統合推進
 - ウ 学校司書による中学校の図書整理
 - エ 中学校統合に伴う給食センターの業務分担および調整

II 豊かなライフ・ステージ

1 生涯学習の充実

(1) 生涯学習体制の整備・充実

- ① 「心豊かな町民」を目指す生涯学習の推進
 - ア 生涯学習推進のための各種企画の創意工夫
 - ・講座、講習、現地研修、文化祭、講演会、映画上映会、諸大会等
 - イ 学習成果発表の場の提供
 - ・文化祭、生涯学習フェスティバル、合唱祭、報告会、優秀選手表彰式等
- ② 生涯学習関連施設の活用
 - ア 町公民館、図書室、カルチャーセンター(指定管理)、歴史民俗資料館等
 - イ スポーツ関連施設(社会体育、学校体育)等
- ③ 生涯学習指導者の育成・確保
 - ア 指導者、学習ボランティア、コーディネーター、シニアリーダーの活用
- ④ 地域学校協働活動の推進
 - ア 学校ごとに地域学校協働本部を整備
 - イ 学校運営協議会と地域学校協働本部の連携を支援

- ウ 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を支援
- ⑤ 生涯学習に関する諸情報の提供 生涯学習だより等
- ⑥ 各種施設との広域的ネットワーク体制の構築
- ⑦ 高齢者や障害者に配慮した施設整備
 - ア 中央公民館にエレベーター、多目的トイレの設置
- ⑧ 新しい生活様式を取り入れた施設の利用、イベントの実施

(2) 学習機会の提供

- ① 各種町民教養講座・教室等の開催 公民館・カルチャーセンター等
 - ア 受講生拡大の工夫
 - イ 各種団体による講演会や講座の支援
 - ウ 自主グループ育成への支援と助言
- ② 4図書室の充実
 - ア 図書の充実
 - ・蔵書量の充実
 - ・町民のニーズへの対応
 - イ 読書推進活動
 - ・みなかみ町子ども読書活動推進計画に基づく事業の推進
 - ・幅広い年齢層への対応
 - ・読書量、利用者増大への工夫…読書通帳の導入、お話し会の活動支援
 - ウ 広報活動
 - エ 全町図書室運営の充実
 - ・図書室環境の改善・整備
 - ・ネットワークの構築、管理の一元化（データベースの作成等）
 - ・図書システムの導入（中央公民館図書室）

2 社会教育の充実

(1) 社会教育諸条件の整備・充実

- ① 社会教育施設の利用促進
- ② 社会教育関係団体の育成・連携
 - ・子ども会育成会・婦人会・PTA 連合・青少推・スポーツ少年団・スポーツ協会・文化協会等
- ③ 人権教育の充実 町民福祉課・子育て健康課との連携
 - ア 人権学習 正しい認識形成と啓発
 - ・社会教育委員の研修・講演会・家庭教育学級での学習会
 - ・人権擁護委員会との連携・協同活動
 - イ 人権啓発活動
 - ・人権ポスターの募集・表彰
 - ・講演会（町民福祉課と連携）

(2) 青少年教育の充実

- ① 青少年育成活動の充実
 - ア 子ども会の育成
 - イ 青少年育成指導者の育成 みなかみキッズセンター
- ② 青少年活動の充実

- ア 学校外活動（青少年育成事業）の推進
 - ・放課後子ども教室 ・おもしろ科学教室 ・奄美市笠利町との青少年交流事業等
- イ 地域行事参加による体験・交流
 - ・かるた大会 ・地域清掃活動 ・地域行事 ・あいさつ運動
 - ・子ども会ラフティング教室
- ③ 子ども活動に関する諸事業の推進・充実
 - ・ガールスカウト・スポーツ少年団

（３） 青少年健全育成

- ① 青少年健全育成団体相互の連携と協力
 - ・青少年育成推進員連絡協議会との連携
- ② 体験活動の推進
 - ・体験教室の推進（みなかみキッズセンターによる体験教室、ものづくり教室）
- ③ 青少年健全育成活動の充実と非行防止
 - ・あいさつ運動・安全パトロール・電車パトロール
 - ・啓発活動（ポスター・標語入りウエットティッシュの配布）
- ④ 有害環境浄化活動の推進
 - ・ＳＮＳ等に関する被害の未然防止
 - ・社会環境実態調査
 - ・児童・生徒の問題行動の未然防止

（４） 家庭教育の充実

- ① 時期に応じた家庭教育の充実
 - ・子育て講座、就学時子育て講座、思春期子育て講座
 - ・子育て支援… 放課後子ども教室の充実
- ② ＰＴＡ活動の充実
 - ・ＰＴＡの連携活動・共通課題の解決への努力
- ③ 自主活動への支援
 - ・子ども教室運営への支援

３ スポーツ活動の充実

（１） 指導体制の充実

- ① 指導体制の充実
 - ア スポーツ推進委員の有効活用
 - ・全町民生涯スポーツ推進のための計画的活動
 - イ 地域スポーツ指導者の育成と確保
- ② スポーツ団体等の育成と指導者の養成
 - ・指導者研修会の開催、スポーツ少年団育成母集団研修会の開催
- ③ スポーツ情報提供・相談体制の整備
- ④ スポーツ施設・設備の整備・充実…体育施設整備計画に基づき順次整備の実施

（２） みなかみ町スポーツ推進計画によるスポーツ活動の充実

- ① 生涯スポーツ活動の振興

ア 地域スポーツの振興・組織の構築・活動支援の充実

イ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

ウ 軽スポーツの啓発・普及と活動

・ノルディックウォーク ・スポーツ吹矢 等

② 競技スポーツの振興

ア 優秀選手・指導者の表彰

イ 各種選手強化対策の推進

ウ 競技スポーツの指導者の育成

エ スポーツ協会の活動の充実

・スポーツに関する講習会・研修会の開催

・各種競技大会・教室の開催

・各種スポーツ競技団体の結成及び育成

・スポーツ少年団の育成

・競技指導者及び審判員の養成

(3) 地元開催大会の支援

① 群馬県小学生総合体育大会への支援

ア スキー大会開催支援

② 2029群馬国民スポーツ大会への準備

ア ホッケー競技の普及（小学生ホッケー教室の実施）

イ ホッケーグラウンドの計画的な管理

4 文化の振興と文化財の保存と活用

(1) 文化振興

① 文化施設の充実

ア 公民館・カルチャーセンター等の運営の充実

② 文化活動推進体制の充実

ア 文化振興事業の支援・発信

イ 文化活動に関する広報・啓発活動

③ 文化活動の促進

ア 各文化団体の活動計画の把握と促進

イ 地域文化の伝統継承への支援

ウ 後継者不足の課題解決への研究（文化団体、保存会の育成支援）

・文化振興補助金等の活用 活動機会の促進

エ 町文化祭への参加促進

オ 若山牧水顕彰活動（若山牧水みなかみ紀行短歌大会）への支援

(2) 文化財の保存と活用

① 指定文化財整備と活用の促進（歴史を活かしたまちづくり事業等）

② 文化財調査・保護の実施

・文化財調査委員会の活動の充実

③ 町内文化財の点検と文化財リストの作成

④ 文化財の展示施設の整備と活用 展示方法等の検討

⑤ 文化財を活かした学習の推進と郷土愛の醸成

- ・小・中学校の学習への利用促進 ガイドの会との連携
- ・利根商生の自主研究グループによる名胡桃城のジオラマの作成、発表

3. 教育委員会会議・教育委員の 活動状況

1 教育委員会会議・教育委員の活動状況

●みなかみ町教育委員名簿

令和3年4月1日 現在

職 名	氏 名	委員就任日	役職就任日	任 期
教 育 長	田村 義和		H30. 4. 1	R 6. 3. 31
教育長職務代理者	阿部 剛	H30. 4. 1	R 3. 4. 1	R 4. 3. 31
委 員	根津 公安	H31. 4. 1		R 5. 3. 31
委 員	登坂 季子	R 2. 4. 1		R 6. 3. 31
委 員	利根川太郎	R 3. 4. 1		R 7. 3. 31

●令和3年度教育委員会会議(定例会・臨時会)の開催状況

教育委員会の会議は原則6月、9月、11月、3月の年4回開催される定例会と、必要に応じ開催される臨時会があり、以下のとおり開催し審議されました。

(令和3年4月～令和4年3月まで)

開催日	区 分	議案・報告等
(令和3年) 5月13日 (第1回)	臨時会	報告第1号 みなかみ町コロナウイルス感染症対応について
5月27日 (第2回)	定例会	議案第1号 みなかみ町一般会計予算6月補正予算について 議案第2号 みなかみ町青少年育成団体活動支援補助金交付要綱の制定について 議案第3号 若山牧水みなかみ紀行短歌大会補助金交付要綱の制定について 議案第4号 令和3年度みなかみ町スクールバス購入契約の締結について 議案第5号 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について (協 議) ① 学校訪問(A)の日程変更について ② 奄美市笠利町青少年交流事業について

開催日	区 分	議案・報告等
(令和3年) 5月27日 (第2回)	定例会	③ 桃野小、B & Gプールの一般開放事業について ④ 第16回町民体育祭について
7月6日 (第3回)	臨時会	報告第2号 区域外就学について 議案第6号 令和4年度使用教科用図書の採択について 議案第7号 みなかみ町立小学校及び中学校管理規則第12条3項 による許可申請について 議案第8号 令和3年度要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補 助金の認定について
8月26日 (第4回)	定例会	議案第9号 令和3年度みなかみ町一般会計9月補正予算について 議案第10号 令和2年度(繰越)みなかみ町立月夜野中学校屋内運 動場(柔剣道場)天井等改修工事請負契約の締結につ いて 議案第11号 令和2年度(繰越)みなかみ町中央公民館エレベータ ー設置工事請負契約の締結について 議案第12号 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定 について (協 議) ① みなかみ町中央公民館エレベーター設置工事について ② 第17回成人式について ③ 学校訪問について ④ 通学路の緊急安全点検について ⑤ コロナウイルス感染症対応について
11月25日 (第5回)	定例会	報告第3号 令和3年度末利根沼田地区教職員人事に関する基本方 針について 議案第13号 令和3年度みなかみ町一般会計予算12月補正予算について 議案第14号 みなかみ町立学校の通学区域に関する規則の一部改正 について

開催日	区 分	議案・報告等
(令和3年) 11月25日 (第5回)	定例会	議案第15号 みなかみ町スクールバスの設置に関する条例の一部改正について 議案第16号 みなかみ町スクールバス運営委員会規程の一部改正について 議案第17号 みなかみ町共同学校事務室運営要綱の一部改正について 議案第18号 指定管理者の指定について (協 議) ① 第17回成人式について
(令和4年) 1月26日 (第6回)	臨時会	議案第19号 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について 議案第20号 みなかみ町立小中学校児童生徒の通学費補助金交付要綱の一部改正について 議案第21号 令和3年度みなかみ町一般会計予算1月補正予算について (協 議) ① 令和3年度第2回教育委員会訪問について ② 令和4年度三国会総会について ③ 月夜野地区統合小学校適地候補地地域説明会について
2月18日 (第7回)	定例会	報告第4号 令和2年度(繰越)月夜野中学校屋内運動場(柔剣道場)天井等改修工事の変更請負契約に係る専決処分について 報告第5号 令和2年度(繰越)みなかみ町中央公民館エレベーター設置工事の変更請負契約に係る専決処分について 議案第22号 令和4年みなかみ町教育行政方針(案)について 議案第23号 みなかみ町学校給食センター条例の一部改正について 議案第24号 みなかみ町学校給食センター施行規則の一部改正について

開催日	区 分	議案・報告等
(令和4年) 2月18日 (第7回)	定例会	議案第25号 みなかみ町立学校施設使用条例の一部改正について 議案第26号 みなかみ町体育施設条例の一部改正について 議案第27号 みなかみ町体育施設条例施行規則の一部改正について 議案第28号 みなかみ町公民館条例の一部改正について 議案第29号 令和3年度みなかみ町一般会計予算3月補正予算について 議案第30号 令和4年度みなかみ町一般会計予算(案)について 議案第31号 令和3年度要保護及び準要保護児童生徒就学援助費補助金(新入学学用品費の入学前支給)の認定について(協 議) ① 小中学校・こども園の卒業(園)式・入学(園)式 について ② 町内4中学校の閉校記念式典について(別紙参照) ③ みなかみ中学校開校式について(別紙参照) ④ 令和3年度末教職員退職者辞令交付式・退職者表彰式について ⑤ 令和4年度教職員辞令交付式について
3月17日 (第8回)	臨時会	報告第6号 みなかみ町教育委員会教育長職務代理者の指名について 議案第32号 令和3年度末教職員人事異動について 議案第33号 みなかみ町地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について 議案第34号 学校給食費の決定について 議案第35号 就学校の指定変更について(協 議) ① 中央公民館エレベーター設置工事の完了について ② 教育委員人事について ③ 令和2年度事業みなかみ町教育委員会点検・評価報告書について

開催日	区 分	議案・報告等
(令和4年) 3月17日 (第8回)	臨時会	(協 議) ④ 小中学校・こども園の卒園(園)式・入学(園)式について ⑤ 令和4年度学校訪問等の予定について ⑥ 令和4年度ALT配置見込みについて ⑦ 令和4年度教育委員関係事業について(県関係)

(令和3年4月～令和4年3月)

区 分	回 数	議案件数	協議件数	報告件数	選挙回数	教育長事務報告
定例会	4	21	13	3		4
臨時会	4	14	10	3		

● 令和3年度総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正(平成27年4月1日施行)に伴い、町長と教育委員が構成員となり、相互の十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有するため総合教育会議が設置されました。

総合教育会議において、町長は教育委員と協議して、教育に関する総合的な施策の大綱を策定するとともに、教育に関する重点的な施策について協議することとなっています。

令和3年度には以下のとおり開催され、協議を行いました。

開催日	案 件 等
(令和3年) 12月17日	1. みなかみ町中学生海外派遣事業の見直しについて 2. みなかみ町立小中学校統合推進事業の進捗状況について

●教育長・教育委員の活動

教育委員会は、定例会以外に各種研修会及び教育委員会主催の行事に参加しています。
また、各小中学校へも学校訪問をして教育環境の整備や体制づくりに努めています。

(令和3年4月～令和4年3月まで)

期 日		行 事 予 定
4月 1日	木	町職員辞令交付式 課長会議 教育委員辞令交付 教職員辞令交付式 転入者挨拶・教育長年度初め挨拶
2日	金	4月議会臨時会
7日	水	(入学式)
8日	木	SC(スクールカウンセラー)辞令交付 ミナカミタウン EXE聖火リレー報告
9日	金	管内校長会
12日	月	川口市教育委員会来庁 合同協議会接続テスト
13日	火	課長会議
14日	水	SC辞令交付 管内教頭会
15日	木	教育長・園長・校長等合同研究協議会 ヘキセン入所式
19日	月	布施郵便局長来庁 web会議
20日	火	SC辞令交付
22日	木	議会総務文教常任委員会 新治小学校運営協議会
23日	金	第1回教育委員会訪問 GG定期総会
26日	月	議会全員協議会 令和2年度末人事総括会議
27日	火	課長会議 三国会講演会・総会
30日	金	藤原湖マラソン実行委員会
5月 4日	火	臨時校長会web会議
7日	金	管内校長会 議会全員協議会 スポーツ推進委員会
11日	火	課長会議
12日	水	水上中A訪問 管内校長会
13日	木	職員互助会監査 管内教頭会 第1回教育委員会(臨時会) 青少推連協研修会・総会
14日	金	放課後子ども教室総会
17日	月	町長打合せ 県市町村教育長協議会
20日	木	古馬牧小A訪問 保健福祉事務所現地調査・指導
21日	金	社会教育委員会議
25日	火	新治小A訪問 課長会議 課長・次長級期首面談
26日	水	議会全員協議会
27日	木	第2回教育委員会(定例会)
28日	金	石坂議員来庁 利根・沼田教委連協総会・歓送迎会 教育長会議
31日	月	月夜野地区統合小学校適地検討委員会設立準備会

期 日		行 事 予 定
6月 1日	火	6月議会定例会:本会議・一般質問 藤原小中A訪問
2日	水	6月議会:一般質問・議会全員協議会
3日	木	教育委員会訪問
4日	金	月夜野北小A訪問
7日	月	教育事務所来庁
8日	火	課長会議 議会月夜野地区教育環境検討特別委員会
9日	水	管内校長会 統合中学校学校運営部会 第2地区教科書採択協議会
11日	金	6月議会本会議 管内教頭会
15日	火	月夜野中A訪問
16日	水	平和行進要請行動
17日	木	教育長会議
18日	金	統合中学校総務部会
19日	土	谷川岳インフォメーション開所式
21日	月	死亡叙位叙勲伝達
22日	火	水上小A訪問
24日	木	管理職面談
28日	月	第2地区教科書採択協議会
29日	火	水上中A訪問
30日	水	新治小訪問 月夜野北小訪問 月夜野地区統合小学校適地検討委員会
7月 1日	月	管内校長会 統合中学校学校運営部会
2日	金	新治中A訪問
5日	月	桃野小A訪問 管理職ヒアリング
6日	火	第3回教育委員会(臨時会)
7日	水	統合中学校校歌制作学校訪問 教育支援委員会(専門家)
8日	木	にいはるこども園訪問 平和大行進
9日	金	管内教頭会
11日	日	「風の谷プロジェクト」打ち合わせ
12日	月	古馬牧小訪問
13日	火	課長会議 月夜野中訪問
14日	水	藤原小中訪問 WEB会談 教育長会議
15日	木	高齢者叙勲伝達
20日	火	統合中学校地域関連部会
25日	日	死亡叙位叙勲伝達
27日	火	課長会議 沼田、利根地区高等学校在り方検討委員会
29日	木	指導措置 非核平和行進
30日	金	議会全員協議会 統合中学校拡大総務部会

期 日		行 事 予 定
8月2日	月	町地域福祉計画策定委員会
4日	水	課長会議 第2回教育支援委員会
6日	金	議会全員協議会 教育行政懇談会(web) 青少年赤十字地区連協総会(書面) 星空観察会(中止)
11日	水	カルチャー運営委員会 社会教育委員会議
17日	火	指導措置
18日	水	緊急管内校長会
19日	木	町コロナ対策本部会議 ミナカミタウン EXE来庁
21日	土	少年の主張利根沼田大会
23日	土	劇団「風」公演
24日	火	課長会議
25日	水	管内校長会
26日	木	第4回教育委員会(定例会)
27日	金	統合中学校拡大総務部会
30日	月	人事面接
31日	火	議会全員協議会 管内教頭会
9月1日	水	人事面接
7日	火	9月議会定例会:本会議・一般質問
8日	水	9月議会:一般質問・全員協議会
9日	木	議会決算連合審査会
10日	金	議会総務文教常任委員会 教育事務所ヒアリング
13日	月	地区人事会議
14日	火	課長会議
15日	水	議会月夜野地区教育環境検討特別委員会
17日	金	9月議会:本会議
22日	水	包括連携協定締結式
24日	金	人権ポスター選定会
27日	月	地区人事会議
28日	火	課長会議
29日	水	第1回教育委員会協議会
30日	木	議会全員協議会
10月 1日	金	統合中学校学校運営部会 教育長等WEB協議会 管内校長会
5日	火	町長打合せ パース大付属専門学校副校長来庁
7日	木	多胡(邦夫)スタジオ訪問
8日	金	管内教頭会
12日	火	月夜野北小訪問
13日	水	議会総務文教常任委
14日	木	課長会議
18日	月	産学官金説明会 叙勲位階伝達(2件)

期 日		行 事 予 定
10月19日	火	藤原小中訪問
20日	水	東京理科大説明会 月夜野地区小学校適地検討委員会
21日	木	桃野小訪問 ミナカミタウン. EXE来庁
22日	金	町地域福祉計画策定委員会 群馬県国公立幼稚園・こども園教育研究会 (収録画)
25日	月	職員採用試験
26日	火	課長会議
28日	木	議会全員協議会 資料館視察
29日	金	新治小訪問 みなかみBRポスター審査会 星空観察会
11月 1日	月	三宅村教育委員会来庁
2日	火	新治中学校訪問
3日	水	多胡(邦夫)氏交流
5日	金	古馬牧小学校訪問
8日	月	課長会議 水上中訪問
9日	火	統合中学校学校運営部会 管内校長会
10日	水	ICT活用プロジェクト
11日	木	中間面談 なつこ来庁 中学校統合準備委員会
12日	金	管内教頭会 県教育長協議会
15日	月	人事ヒアリング
16日	火	月夜野中訪問
17日	水	三国会授業研究会
18日	木	人事ヒアリング
19日	金	人事ヒアリング 町地域福祉計画策定委員会
22日	月	ミナカミタウン. EXE来庁 議会全員協議会 沼田、利根地区高等学校 在り方懇談会
24日	水	課長会議
25日	木	第5回教育委員会(定例会)
26日	金	教育事務所人事ヒアリング
29日	月	懲戒分限委員会
30日	火	12月議会定例会:本会議・一般質問 月夜野地区統合小学校適地検討委員会
12月 1日	水	12月議会:一般質問
2日	木	12月議会:一般質問 議会全員協議会 特別委員会打合せ
3日	金	議会総務文教常任委員会
8日	水	課長会議 議会月夜野地区教育環境検討特別委員会
9日	木	統合中学校学校運営部会 管内校長会
10日	金	12月議会:本会議
13日	月	教育事務所人事ヒア
14日	火	管内教頭会
15日	水	放課後子ども教室運営委員会

期 日		行 事 予 定
12月16日	木	月夜野地区統合小学校適地検討委員会提言書提出 多胡(邦夫)氏 校歌練習会
17日	金	総合教育会議
21日	火	課長会議
24日	金	高齢者叙勲伝達
28日	火	仕事納めの会 教委仕事納め式
1月 4日	火	教委仕事始め式 仕事始めの会 課長会議
5日	水	第3回地区人事会議
6日	木	町村教育委員会研修(web)
7日	金	第2回教育事務所人事ヒアリング
9日	日	消防出初め式 成人式
11日	火	統合中学校学校運営部会 管内校長会
12日	水	管内教頭会
14日	金	多胡(邦夫)氏記者発表 ヘキセン論文審査
18日	火	課長会議
19日	水	第4回地区人事会議
20日	木	課長会議
21日	金	第6回教育委員会(臨時会) 町地域福祉活動計画策定委
24日	月	議会月夜野地区教育環境検討特別委員会
25日	火	教委点検・評価会議
26日	水	第6回教育委員会(臨時会) ヘキセン反省会・理事会
27日	木	町長・副町長統合打合せ 県教育長人事会議(書面開催)
28日	金	議会全員協議会
31日	月	1月議会臨時会
2月1日	火	課長会議
2日	水	統合中学校学校運営部会 管内校長会
3日	木	還暦野球等要望書提出
5日	土	ESDコンソーシアム(オンライン) 教育フェスタ(オンライン)
6日	日	林辰男杯みなかみ町小学生スキー大会(中止)
8日	木	管内教頭会
10日	木	県市町村教育長協議会(書面開催)
14日	月	第5回地区人事会議
15日	火	課長会議 教育委員会訪問
16日	水	月夜野地区教育環境検討特別委員会 ヘキセン発表会・修了式
17日	木	赤谷プロジェクト意見交換 会年職面接 校長面談 人事発令
18日	金	第7回教育委員会(定例会)
21日	月	校長面談
22日	火	藤原中学校閉校記念式典 水上中学校閉校記念式典
24日	木	第6回地区人事会議

期 日		行 事 予 定
2月25日	金	グリフ代表来庁 新治中学校閉校記念式典
28日	月	議会全員協議会
3月 1日	火	課長会議 第7回地区人事会議
2日	水	統合中学校学校運営部会 管内校長会
8日	水	3月議会定例会:本会議・一般質問
9日	水	3月議会:本会議・一般質問、議会全員協議会
10日	木	3月議会:予算連合審査会
11日	金	中学校卒業式 議会総務文教常任委員会 教育委員合同会議 利根郡 教委連絡協議会定例会
15日	火	管内教頭会(オンライン) 沼田警察署長来庁
16日	水	期末面談・一般職
17日	木	第8回教育委員会(臨時会)
18日	金	3月議会本会議 教委点検・評価議会議長提出 学校長内示面談 採用候補者面談
22日	火	課長会議 月夜野中学校ネットワーク・プロポーザル
23日	水	期末面談・課長職
24日	木	小学校卒業式
25日	金	月夜野中学校閉校記念式典
26日	土	布施区役員等説明会
31日	木	形式退職辞令交付 研修者辞令交付 町退職者辞令交付 教職員退職者辞令交付 事務局退職者を送る会

4. 教育委員会各事業

学校教育課

施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 学校教育課 課長 河合 博市	
施策	20	学校教育の充実	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	町内の児童生徒	豊かな心と高い知性、健康な身体をもとに活力ある人間に育つ。	1 教育水準の向上	町内の児童生徒	確かな学力を身につける。
			2 教育環境の整備	町内の児童生徒	適切な教育環境で教育が受けられる。
			3		
			4		

施策の基本方針	・少子化の動向を踏まえ、学校の適正規模を考慮した配置を進めるとともに、地域に根ざした特色ある教育を推進します。 ・学校と家庭、地域との連携により、通学における児童生徒の安全性の向上に努めます。 ・学力や体力の向上を図るとともに、不登校や問題行動、特別な支援を必要とする子どもたちへの取り組みを強化します。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	学力テストの結果(児童/生徒)	%	実績値	82.3/81.3	80.1/80.5	78.8/81.6	75.3/79.3	77.3/80.5	78.2/74.7	
					目標値		82.0/82.0	82.0/82.0	82.0/82.0	83.0/83.0	83.0/83.0
	B	体力テストの結果(児童/生徒)	ポイント	実績値	50.9/50.8	50.6/49.0	50.4/48.4	54.5/50.4	—	57.8/44.8	
					目標値		50.0/50.0	51.0/51.0	51.0/51.0	51.0/51.0	51.0/51.0
	C	不登校児童生徒数の割合	%	実績値	1.52	1.51	1.74	1.58	1.70	2.39	
					目標値		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	D			実績値							
					目標値						
	E			実績値							
					目標値						

指標設定の考え方と実績値の把握方法	A) 結果が良ければ、高い知性が育まれていると考えられるため成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため信憑性が高い。1学期中に小2～中3までの全員を対象として実施する教研式標準学力検査NRTにおいて、学習到達度5段階中3以上(概ね学習内容を理解している)の児童・生徒が全体に占める割合を百分率で表記したもの。(児童の割合/生徒の割合で表記) B) 結果が良ければ、健康な身体が育まれていると考えられるため、成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため比較しやすい。全学年を対象に1学期中に実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」のうち、全国の比較対象となっている小5・中2の成績について、全国の標準を50ポイントとした時の比較。 C) 数値が低ければ、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれていると考えられるため成果指標とした。 【児童生徒の問題行動等に関する月例報告書】に基づき【不登校児童生徒の数/児童生徒数】を百分率(小数点第3位を四捨五入)で表記したもの。
目標値設定の考え方	A) 町費の補助教員や支援員・介助員の拡充、指導主事の設置などを実施しており、現状でも他団体と比較して学力水準が高いことから、成果を今以上に上昇させるためにはより一層の努力を要する。 B) 家で過ごす子どもが多い近年では、体力づくりに関心のある家庭と、そうではない家庭の二極化が進んでいる。学校での取り組みを強化するなど、全体的な体力向上を図り、平均値を上回ることを目指す。スクールバスの利用に伴い、子ども達の体力の低下が懸念される。 C) 不登校児童生徒は、何かしらの支援が必要な子どもである傾向が見られる。分母となる児童生徒数は益々減少傾向にあるが、対象となる児童生徒の割合が増えており、目標達成は非常に難しい状況であると言える。町の適応指導教室や県等の関係機関と連携して、不登校児童生徒数の割合を1%以下とすることを目標とする。

施策のための目的・役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<家庭・保護者> ・家庭では子どもたちの心身の健康を育み、基本的な生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎を作る。 ・保護者としての自覚を持ち、社会的な義務を果たす。 <地域住民> ・「地域の子どもは地域で育てる」という意識を持ち、子どもたちが安心して活動できる地域づくりを進める。 ・地域の人材として学校現場へ積極的に関わるなど、教育活動へ協力する。	・教育の基本方針を策定する。 ・児童生徒が安心して学習できる安全な環境をつくる。 ・教員の資質の向上を図る。 ・小中学校統合推進計画に基づき、統合中学校の計画的な整備を行う。 ・ユネスコエコパーク登録により、本町の自然や文化など多くの魅力を見つめ直し、持続可能な開発のための教育の学習を図るため、管内小中学校のユネスコスクールへの登録加盟・活動を支援する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	・少子化により、児童・生徒が更に減少することが見込まれ、それに伴い集団学習や集団活動の実施に制約が生じてきている。 ・2018年度より小学校、2019年度より中学校で特別な教科「道徳」が始まり、2020年度に小学校3・4年生は外国語活動、小学校5・6年生では英語が教科化され、時間の確保や指導体制の整備が急務となる。 ・校舎等の老朽化により、修繕、大規模改造等が必要である。 ・地球温暖化による異常気象(高温・集中豪雨)や通学時等の予測不能な事件・事故が多発している。 ・GIGAスクール構想に基づく、ICT機器を活用した授業展開が進む。	・不登校の児童生徒数は、子ども達の減少とは対照的に増加傾向にあり、早期対応等の取り組みが求められている。 ・特別支援教育の対象児童生徒は増加しており、意見や要望は多岐にわたっているため、細かな対応が必要とされている。 ・少子化に関連し、部活動等の課外活動も含めた様々な場面において、学校の教育環境整備が求められている。 ・登下校の安全確保、点検、見守りの強化等が求められている。 ・GIGAスクール構想に基づく、1人1台端末などハード面の整備とともに、端末を活用した授業内容の充実や家庭学習への活用などのソフト面の整備について、議会の一般質問などで取り上げられている。

施策	20	学校教育の充実	主管課	名称 学校教育課 課長 河合 博市
----	----	---------	-----	----------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因	
	① 時系列比較	② 他団体との比較	③ 目標の達成状況	
	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☒ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	☐ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☒ ほぼ同水準である。 ☐ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	☐ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どりの成果であった。 ☒ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①学力テストの結果で、学習到達度5段階中3以上(概ね学習内容を理解している)の割合は、小学生が78.2%、中学生が74.7%(前年77.3%、80.5%)であり、昨年度と比較して、小学生が0.9ポイントの上昇、中学生は5.8ポイントの低下という結果であった。 ②体力テストは、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度の全国実施が見送られたため前年度との比較は困難であるが、令和元年度と比較すると、小学生が令和元年度の54.5ポイントに対し、57.8ポイント(男子54.8、女子60.8)と3.3ポイントの上昇、中学生は令和元年度の50.4ポイントに対し44.8ポイント(男子39.8、女子49.8)と5.6ポイントの低下という結果となった。緊急事態宣言等による学校長期休業などの影響により、児童生徒の体力面の低下が懸念される。 ③不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は、25人(前年17人)であり昨年度より8人増加した。割合は2.60%(前年1.70)と0.90ポイント増加した。 ①少人数学級編成など群馬県独自の取り組みを実施するとともに、平成23年度から導入している町独自の教育補助員事業を継続しており、比較的高い水準にある。学力テストは、他の団体とは比較出来ないが教科総合の偏差値は、小学校51.2/中学校50.9(前年51.4/52.0)であり、昨年度と比較して、小学生が0.2ポイント、中学生は1.1ポイントそれぞれ低下した。(偏差値50を全国平均とし比較した場合) ②体力テストは小学生が57.8ポイント(男子54.8/女子60.8)であり、全国平均の53.6(男子52.5/女子54.6)、県平均の54.2(男子52.8/女子55.6)ともに上回った。中学生は44.8ポイント(男子39.8/女子49.8)で、全国平均の44.9(男子41.2/女子48.6)、県平均の45.3(男子41.0/女子49.6)を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響による児童生徒の体力面の低下が懸念される。 ③不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は昨年度と比較して8人増加し25人となり、割合にして2.60%(小学生1.12/中学生5.31)となった。数値が公表されている「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」と昨年度の数値を比較しても、みなかみ町の2.60%(小学生1.12/中学生5.31)に対し、全国平均2.0%(小学生1.0/中学生4.1)、県平均1.98%(小学生0.99/中学生3.85)であり、その割合は依然として高い傾向にある。 ①学力テストの結果は、小学生・中学生ともに目標値を下回った。 ②体力テストは、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度の全国実施が見送られたため前年度との比較は困難であるが、令和元年度と比較すると、特に中学生においては、令和元年度の50.4ポイントから44.8ポイント(男子39.8/女子49.8)と5.6ポイントの低下という結果となった。緊急事態宣言等による学校長期休業や部活動の縮小などの影響を受けたものと考えられる。 ③不登校児童生徒(30日以上欠席)の数の割合は2.60%と、目標値1.00%を1.60ポイント上回るため、目標を下回った。

基本事業の成果指標	基本事業名		成果指標名		単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1	教育水準の向上	A	確かな学力を身につけることができた児童の割合	%	実績値	73.0	91.9	90.4	86.1	90.6	91.4	
							目標値	73.5	74.0	74.5	75.0	75.5	76.0
			B	授業で学習したことが身についた生徒の割合	%	実績値	80.0	88.6	83.4	85.1	90.1	94.7	
							目標値	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0
	2	教育環境の整備	A	タブレット型端末機器の環境整備の割合	%	実績値	実績なし	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	
							目標値	0.0	0.0	10.0	30.0	50.0	70.0
			B	小中学校の洋式トイレの割合	%	実績値	50.9	55.9	59.0	60.0	60.0	60.0	
							目標値	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0
	3		A			実績値							
							目標値						
			B			実績値							
							目標値						
	4		A			実績値							
							目標値						
			B			実績値							
							目標値						

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名		今後の課題		今後の取り組み(案)	
	1	教育水準の向上				
			①早期に適正規模を目的とした環境整備に着手し、公平で効率的な教育環境を整備して教育水準の向上を図る。 ②学習指導要領の改正に伴い、指導方法など共通理解を浸透し、質の高い教育を提供する必要がある。 ③きめ細かな教育を実践するため、特別支援教育に携わる補助教員兼支援員・介助員等の人材確保する。 ④英語教育の充実を図る。 ⑤みなかみユネスコエコパークの理解を深める。 ⑥体力向上及び肥満対策を検討していく必要がある。 ⑦不登校児童・生徒への支援と未然防止対策を講じる必要がある。 ⑧ICTを活用した学習をさらにすすめる必要がある。		①みなかみ町立小中学校統合推進計画に基づき、着実に教育環境整備を行い、学校経営、学習指導の充実を図る。また、月夜野地区小中学校統合に向けた環境整備を計画的に進める。 ②学習指導要領の改訂に際し、関係機関等と連携し授業研究等を行うなど、教員の資質向上に努める。 ③教職員等の資格保有者を積極的に活用する。 ④英語検定補助を拡充していく。 ⑤環境教育の継続拡充を図るとともに、ユネスコスクールの活動を支援していく。 ⑥学校へ運動量確保の働きかけを行うとともに、子育て健康課と連携した肥満解消の啓発活動を行っていく。 ⑦適応指導教室(リエントリールーム)の活用、スクールカウンセラーの活用、不登校対策委員会における情報の共有化など、学校と家庭と教育委員会の連携を図り、不登校傾向の児童・生徒への早期対応を図っていく。 ⑧ICTを組み合わせた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための授業づくりを支援する。 ⑨子ども家庭庁設置法の成立(国)及び子育て支援課の設置(町)が設置され、子育て健康課とのより一層の連携を進める。	
	2	教育環境の整備	①登下校時における安全確保は、全国的にも喫緊の課題である。学校や関係機関と連携し、危険箇所の改良や、「地域で児童生徒を見守る」活動について、地域ボランティアと協力して推進していく必要がある。 ②小中学校のほか給食センターなどの施設・設備が老朽化しており、設備の更新計画の見直しなど改善が必要となってきている。 ③GIGAスクール構想に基づく、1人1台端末などハード面の整備が完了、ICT機器を活用した授業内容の充実など、活用面の推進に力を注いでいく必要がある。		①警察署や関係機関等と連携した通学路の安全点検結果に基づく安全確保を行い、併せて、新たな見守り組織の育成を行うなど、地域に協力を求めていく。 ②統合推進計画や学校施設点検結果に基づき、学校施設や給食センターなど、計画的に整備を行っていく。 ③デジタル補助教材を導入するとともに、授業内容の充実と学校教職員の負担軽減のための取り組みを行う。 ④緊急時でもICT機器を活用した学習保障が可能となるよう、日頃の授業等において教職員及び児童生徒の積極的な活用をさらに推進する。	

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	教育委員会運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	821,650 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	みなかみ町の教育行政や学校運営をつかさどる行政委員会	地域や行政等の意見を把握するために、総合教育会議の開催や地域学校協議本部の立ち上げ及び学校運営協議会の設置に向け取り組んだ。(R03学校運営協議会設置1校 新治小)	事業実績	
	基本事業	01 教育水準の向上			教育委員会・教育委員会協議会・総合教育会議開催回数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 1	委員会に現場の声を反映するために、住民の意向を把握することが重要と考える。そのため学校を訪問したり、PTAや学校関係以外の団体等とも意見交換が必要となる。	学校運営協議会の設置に向けた学校への支援を引き続き行う。	7・1・1	8-1-1
					単位	回

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	事務局一般管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,011,960 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	教育委員会事務局業務を遂行するために必要な経費について、的確に管理し、円滑に業務が行われるようする。	-	事業実績	
	基本事業	01 教育水準の向上			決算額	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	課題なし	-	10,854	3,012
					単位	千円

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000022	卒業記念品事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	126,880 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	毎年小・中学校の卒業生に卒業記念品として卒業証書を入れるホルダーを贈呈する。	-	事業実績	
	基本事業	01 教育水準の向上			卒業記念品数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	課題なし	-	220	244
					単位	冊

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000026	教職員労働安全衛生管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,708 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	長時間労働者に対する医師の面接指導と、全教職員を対象としたストレスチェックの実施。	毎月、教職員時間外勤務状況を把握し医師の面接体制を整備したが利用の実績なし。ストレスチェック事業の受検者は昨年度より減り146人が受検した。	事業実績	
	基本事業	01 教育水準の向上			面接指導／ストレスチェックの受検者数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	根本的な問題である教職員の多忙化を解消できるよう、業務の削減や見直しを行う必要がある。	学校に対する依頼事項を整理し見直しを図る。毎月、在校等時間記録表を提出してもらい勤務時間の把握を行う。	161	146
					単位	人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000010	外国語指導助手(ALT)事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	21,004,480 円
施策	20	学校教育の充実	児童生徒が外国語や異文化を理解し、外国人と積極的にコミュニケーションを図れるようになることを目的に、4名のALTを配置し、ティームティーチングによる英語指導を行う。	連絡など、町教委担当から直接ALTへするのではなく、各学校の英語教諭等を通して連絡するようにしたこと、町教委、学校、ALTで情報の共有ができた。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			学校訪問回数(平均)・ALT人数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度 単位
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	各校の英語担当者とコミュニケーションを深め、教職員と共に活動する意識をもてるようにしていく。また、生活サポート等の事務量が多いことが課題である。	引き続き、学校の英語教諭や事務職員に協力いただきながら、情報共有を行う。生活サポートなどで外部委託を検討し、事務負担の軽減を図っていくことが課題。	小59中134 4人	小59中134 4人 回・人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000009	教育補助員事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	191,238 円
施策	20	学校教育の充実	支援が必要な児童生徒に対し、町費負担の補助教員・介助員を配置する。	各学校より提出された要望書により聞き取り調査を行い、必要と判断した学校へ配置を行った。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			補助教員数・介助員数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度 単位
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	各学校の状況を的確に把握し、充実した支援ができるよう機能的に配置していく必要がある。	今後も継続的に必要学校数を把握し、配置を行う。会計年度任用職員へ制度移行した為、報酬等は総務課へ移管	8・4	8・4 人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000021	尾瀬学校事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	225,600 円
施策	20	学校教育の充実	児童生徒が尾瀬での自然体験学習・事前学習を行い、質の高い環境教育を提供する。事業実施小中学校に、事業費(バスの借り上げや現地ガイド料)を県に補助申請し、支払業務を行う。	学校への周知と確認を行い、学校との調整を円滑に行った。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			参加学校数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度 単位
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	小学生か中学生の間に必ず1回実施することになっているので、統合に向け、実施時期の調整が必要となった。	継続。	1	1 校

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000015	文化活動派遣費補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	55,532. 円
施策	20	学校教育の充実	音楽祭、コンクール、音楽研究大会、社会科見学会等の小中学校における文化活動を対象にバスの借上や移動費補助を行う	なし。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			補助件数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度 単位
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	なし。	管内の小中学校に周知を継続していく。	0	1 件

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000016	運動選手派遣費補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	653,113 円
施策	20	学校教育の充実	小中学校の運動大会(県大会等)出場に関する派遣費補助を行う。 補助金申請事務、補助金の支払い、大会成績の広報などを行う。	なし。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			補助件数	
組織名	学校教育	課	学校教育	係	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
			なし。。	継続。	3	6
					単位	件

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	学校経営研究・研修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	97,390 円
施策	20	学校教育の充実	学校経営に関することで、対象を学校としている校長会負担金・教頭会負担金・学校事務研究会負担金などの支出	—	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			学校数(小・中)	
組織名	学校教育	課	学校教育	係	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
			課題なし	—	6・4	6・4
					単位	校

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	学校教育研究・研修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	258,500 円
施策	20	学校教育の充実	教育研究に関する事業で、対象を教職員等としている。群馬県小中学校学校教育研究会、利根郡へき地教育センター、利根郡小中学校教育研究会等の市町村負担金の支出	—	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			学校数(小・中)	
組織名	学校教育	課	学校教育	係	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
			課題なし	—	6・4	6・4
					単位	校

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000019	総合的な学習の時間支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	212,440 円
施策	20	学校教育の充実	総合的な学習の時間等において、外部講師を依頼した際にかかる保険、及び谷川岳エコツアー登山実施に伴う補助を行う。	制度の周知を徹底し、外部講師の有効活用につながった。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			児童数・生徒数	
組織名	学校教育	課	学校教育	係	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
			他の事業と合わせて、教員の指導力向上を図ることにより、外部講師の有効活用にもつなげる必要がある。	継続。	645・368	637・361
					単位	人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000027	英語検定料補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	353,200 円
施策	20	学校教育の充実	実用英語技能検定の検定料を補助することで、児童生徒の英語力及び英語学習意欲の向上を図る。	課題なし。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	補助金申請者数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	課題なし	令和元年度に制度化されたばかりであり、現状のまま継続する。	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
					129	172 人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000028	ユネスコスクール活動推進事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	42,177 円
施策	20	学校教育の充実	町がユネスコエコパークの登録されたことに関連し、町内の学校がユネスコスクールに加盟し、国際交流活動やESDを推進する。	令和2年6月にユネスコスクールの加盟方法について、見直しが行われることとなり、令和3年5月により再開となったため、加盟進捗状況は前年度と変わっていない。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	認定学校数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	ユネスコスクールに認定された場合のメリットの少なさ。	加盟申請中の学校が加盟登録の認証を得られるように、引き続き事務のサポート体制を継続する。	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	期間限定事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
					0	0 校

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000030	教育支援推進事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,616,060 円
施策	20	学校教育の充実	幼児・児童・生徒の就学に係る相談や助言、支援を行う。また、特別支援教育の充実を図るため、調査や研究、講演会など開催する。	乳幼児期については保健師と、その後は、こども園、小中学校と連携し、早期より支援の必要な児童生徒を把握し、必要な時に必要な支援を行う。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	教育支援委員会審議対象者数(新就学児童/就学児童生徒)	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	少子化に反して、支援を必要とする幼児や児童生徒は年々増加しており、支援を行える人材を育成して行く必要に迫られている。	関係機関とより親密な連携を図り、支援を必要とする児童生徒の援助を行う。	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
					26・121	22・134 人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	小中学校教育研究会(三国会)事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	214,728 円
施策	20	学校教育の充実	館内の常勤の教職員を持って組織し、みなかみ町の教育の振興を図るため、研究、調査、講習等に関わる事業を行う。	町内水泳大会が都内水泳大会へ変更、スキー大会を町スキー協会へ移管した。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	学校数(小・中)	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	多忙化により、活動に費やす時間を確保することが難しくなっている。	限られた時間の中で有効な研究・調査を継続して実施していく。	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	1 目	2
					6・4	6・4 校

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000014	特別支援学校就学援助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	641,995 円
施策	20	学校教育の充実	特別支援学校に通う児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助する。	なし	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			受給者数(小学校/中学校)	
組織名	学校教育	課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	課題なし	継続	単位	
		1 款			小14/中4	小21/中4
		10 項				人
		2 目				
		1				

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000024	高等学校総務費負担事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,400 円
施策	20	学校教育の充実	定時制教育への市町村負担金。	なし	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			沼田高校定時制生徒数	
組織名	学校教育	課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	課題なし	なし	単位	
		1 款			8	7
		10 項				人
		4 目				
		1				

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000023	家庭教育支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	74,656 円
施策	20	学校教育の充実	小学校に入学する前の就学時健診時と中学校に入学する前の移行学級を活用し、保護者を対象に「子育て講座」を実施し、子育てを行う保護者へ子育てに関する啓発を促す。	コロナの影響で例年より少なかったが、子育て講座を実施した。	事業実績	
基本事業	01	教育水準の向上			講座開催数	
組織名	生涯学習	課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	学校行事の「就学時健診」や「知能検査」との日程調整や、小中学校入学前の児童の保護者のニーズに応えた講師の選定が課題である。	参加者や学校側のニーズの調査を引き続き行う。R4に中学校が統合する。対象者が増えるので場所や時間を考慮した「子育て講座」を実施する。	単位	
		1 款			8	5
		10 項				回
		5 目				
		1				

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000023	利根沼田学校組合(利根商)地方交付税交付事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	412,350,000 円
施策	20	学校教育の充実	利根沼田学校組合理事会の協議により、地方交付税(普通交付税高等学校費及び特別交付税高等学校寄宿舎分等)を一括算入し、負担金として支出する。		事業実績	
基本事業	02	教育環境の整備			普通交付税交付額 特別交付税交付額	
組織名	総合戦略	課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計	課題なし		単位	
		1 款			373,929・40,510	372,568・39,782
		10 項				千円
		4 目				
		1				

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000027		校務支援システム導入・運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		6,419,270 円	
施策体系	施策	20		学校教育の充実				教職員や学校事務に事務負担軽減のため、統合型校務支援システムにより教育の充実に図る。	学校間でシステム利用などの情報共有を行い、システムを有効活用しながら業務改善につなげている。	事業実績				利根郡共同利用による統合型校務支援システムを利用する学校数					
	基本事業	02		教育環境の整備															
								②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
組織名		学校教育 課		学校教育 係				利根郡4町村で共同調達し運用しているが、沼田市が別システムのため情報共有が出来ていない。今後統一したシステムを使用するか検討が必要となる。				利根郡他町村との協議 将来的な沼田市(群馬県)との連携検討				令和 2年度		令和 3年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	1	目	2					10/18		10/18	校	

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000033		公立学校情報機器整備事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		25,622,850 円					
施策体系	施策	20		学校教育の充実				国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末を整備するもの。国が1台あたり45千円を上限に補助制度を創設予定である。				県の共同調達に参加、スケールメリットを活かした金額で契約することができた。GIGAスクールサポーターの活用など現場の負担軽減に配慮した。				事業実績							
	基本事業	02		教育環境の整備												1人1台端末を利用する児童生徒数							
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
組織名		学校教育		課		学校教育		係		機種等の選定、調達方法、学校現場での有効的な活用。				「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実現するため、GIGAスクールサポーター事業等を活用しながら有効活用への支援を行う。				令和 2年度		令和 3年度		単位	
事業期間		期間限定事業		会計		1		款										10		項		1	
																		637・361		617・336		人	

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000035		GIGAスクール構想推進事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		7,067,886 円			
施策体系	施策	20		学校教育の充実				・国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末等を整備し、ICT技術を活用した授業展開をはかるとともに、個別最適化され、創造性を育む学びを実現する。				・ICTサポーター事業を活用し、専門知識を有する事業者からの研修を実施。事務局を含めた機会の維持や各種設定の年度更新などの業務に対し、総合的なサポート体制の構築を検討した。(業者委託)				事業実績					
	基本事業	02		教育環境の整備												②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策	
	組織名		学校教育課		学校教育係				・ICT機器導入後の運用に課題がある。機器の維持管理、セキュリティ、教職員のITへの理解、運用スキル、学習支援ソフトの選定、教職員へのサポート体制等、課題は多い							・段階的に構築する(5年間)予定の事業を1年で運用開始まで行ったため事務局をはじめ学校現場でも混乱や戸惑いが見られる。限られた人員と専門知識を要求される実情の中では解決に限界が見えるため、専門業者のサポートを受けることが得策であると考えている。				令和 2年度	
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	1	目	2					637・361		617・336		人		

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000011		児童生徒等健康保持増進事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		4,112,196 円									
施策体系	施策		20		学校教育の充実				学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康診断を行い、心身の健康保持増進を図る。				課題なし				事業実績										
	基本事業		02		教育環境の整備												受診児童生徒数・受診教職員数										
					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策																		
組織名		学校教育 課			学校教育 係				課題なし				課題なし				令和 2年度		令和 3年度		単位						
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項									1 目		2		997・57		951・50		人		

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000012	児童生徒非行防止・健全育成事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	28,500 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	利根沼田地区学校警察連絡協議会の市町村負担金。		事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備			児童数・生徒数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	課題なし		637・361	617・336 人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000017	地域子ども安心安全・育成協議会活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	241,560 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	児童生徒の安全安心な通学を維持するため、地域全体で協力して見守る活動を行う。	通学路マップ、年間・月間行事予定表などを地域に配布するなど安心安全な通学を確保するため、協議会で検討を継続する。防犯ブザー・熊よけの鈴の配布。	事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備			見守り員、ボランティア人数・110番の家	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	全国的に登下校時に犯罪等被害にあうケースが多い。地域ごとに取り組みに差があり、各学校及び各地域で一定以上の見守り体制等を構築できていない。	協力できる人から、少しずつお願いするなど学校や地域との連携を図る。	49・76	49・76 人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000015	スクールバス管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	59,640,761 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	主にみなかみ町の小中学校の児童・生徒の通学に利用するバスの運転業務を効果的に運営する。	受託者との連携を高めることで業務精度の向上に繋がった。(非常時対応など)	事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備			バス利用者数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	受託者の業務精度の向上及び同業他社との競争を取り入れる。また担当職員の指導の厳格化と業務効率の新たな手段等の可能性の追求をしていく。	引き続き、業務効率の新たな手段等の可能性を追求していく。	272	235 人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000014	遠距離通学費助成事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,573,000 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	遠距離通学する児童・生徒の保護者の負担を軽減するために、通学費の全部又は一部を補助する。(居住地の学校、小学生は4キロ以上、中学生は6キロ以上が対象)	要項を改正し、中学校統合後も適正な予算の執行ができるよう調整した。	事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備			遠距離通学児童・生徒数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	今後、小中学校統合推進によるスクールバス利用への移行等により、補助金交付要綱の見直しを検討する必要がある。	継続。	29	23 人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	小・中学校施設等維持管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,930,428 円
施策	20	学校教育の充実	学校では対応が出来ない(請書、契約書が必要となる高額な)修繕を事務局が主体となって行う。	統合に配慮した修繕の実施を行った。	事業実績	
基本事業	02	教育環境の整備			全体の修繕等件数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	各学校から老朽化による修繕の要望が多い。	小学校の統合を見据えて、必要最低限の修繕を行う。	16	13 件

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000006	藤原小中学校教職員住宅管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	442,673 円
施策	20	学校教育の充実	へき地の学校に赴任する教職員の通勤負担を解消するため、入居希望教職員の入退去の管理及び住宅施設の維持管理を行う。	特になし	事業実績	
基本事業	02	教育環境の整備			入居者数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	経過年数により、老朽化が進んでいる。屋根の塗装が劣化しているため、数年後には塗り替えが必要となる可能性あり。	引き続き塗装等の検討も行うが、町営住宅と合わせて施設統廃合などの検討を行いたい。	2	3 人

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000009	地域学校保健委員会事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	39,600 円
施策	20	学校教育の充実	児童生徒の体と心がバランスよく成長していくために、学校と家庭、地域の役割と連携の在り方を探る。そのため、各学校の養護教諭等を中心に、研修や情報交換を行う町学校保健委員会を設置する。		事業実績	
基本事業	02	教育環境の整備			児童数・生徒数	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 1 目 2	課題なし		637・361	617・336 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000010	児童生徒災害共済保険事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	572,785 円
施策	20	学校教育の充実	学校の管理下における児童生徒等の災害共済給付を行う。	課題なし	事業実績	
基本事業	02	教育環境の整備			給付件数(小学生/中学生)	
組織名	学校教育 課	学校教育 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 2 目 1	課題なし	課題なし	小35/中38	小34/中35 件

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000008		要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		1,720,470 円				
施策体系	施策		20		学校教育の充実					経済的な理由によって就学が困難な児童生徒について、学用品費・給食費など学校にかかる費用の一部を援助する。					申請の際に申請書の内容を熟読してもらうようにした。					事業実績					
	基本事業		02		教育環境の整備															受給者数(小学校/中学校)					
									②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策											
組織名		学校教育 課			学校教育 係					新入学学用品費(入学前支給)の支給後の返還についての周知が必要である。					全児童生徒の保護者への周知を進めていく。					令和 2年度		令和 3年度		単位	
事業期間		継続事業			会計		1	款	10											項	2	目	1	25/11	

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000019		利根沼田学校組合(利根商)運営費負担事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,620,000 円					
施策体系	施策		20		学校教育の充実					利根沼田学校組合立利根商業高等学校運営費負担金	なし				事業実績									
	基本事業		02		教育環境の整備																			
											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				みなかみ町在住生徒数					
組織名			学校教育			課		学校教育					係		課題なし				令和 2年度		令和 3年度		単位	
事業期間	継続事業			会計	1	款	10	項	4	目	1	なし		158					162		人			

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		月夜野給食センター管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		167,108,055 円					
施策体系	施策		20		学校教育の充実				小中学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて食育の推進を図る。				厨房機器の状況把握を行い、使用頻度・劣化状況に応じて計画的に改善を行った。				事業実績						
	基本事業		02		教育環境の整備												1日あたり調理食数						
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
組織名		学校教育 課				学校教育 係				調理機器の老朽化に伴い故障・修理が増えている。(平成16年移設稼働)				厨房設備及び建築設備の点検を定期的に行い、十分な給食が提供できるよう維持管理計画を作成する。				令和 2年度		令和 3年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項										7 目		1		883	

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		新治給食センター管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		73,949,771 円							
施策体系	施策		20		学校教育の充実				小中学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて食育の推進を図る。				厨房機器の状況把握を行い、使用頻度・劣化状況に応じて計画的に改善を行った。				事業実績								
	基本事業		02		教育環境の整備												1日あたり食数								
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策											
組織名				学校教育		課		学校教育		係		調理機器・施設の老朽化(平成15年施設稼働時より使用している調理機器が耐用年数を過ぎ、故障修理が増えている。)				厨房設備及び建築設備の点検を定期的に行い、十分な給食が提供できるよう維持管理計画を作成する。				令和 2年度		令和 3年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		7 目										1		363		352	

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000028	小中学校統合推進事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	373,022,856 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	小中学校統合推進計画に基づき、中学校統合に伴う施設整備を行う。		小中学校統合推進計画に基づき、中学校統合に伴う改修工事を実施した。中学校統合準備委員会及び各部会を開催し統合に向けた教育環境の整備について協議した。		事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備					下記の開催回数 中学校統合準備委員会／部会	
			②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度
組織名			学校教育 課		教育環境対策 係		単位	
事業期間	期間限定事業	会計	1 款	10 項	1 目	2	2/16	2/4
中学校の統合先である月夜野中学校は経年劣化による老朽化が進み、改修を要する箇所が多い。月夜野地区の小学校についても老朽化が進んでおり、早期の対応が必要である。							回	
予定している中学校の改修工事を完了させる。月夜野地区統合小学校適地については、適地検討委員会を設立し令和3年度に統合小学校の適地について提言を行った。提言を基に、教育委員会として適地についての協議を重ね、令和4年度に町長へ答申を行う。								

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000034	スクールバス整備事業(統合中学校分)	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	25,313,545 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	小中学校統合推進計画に基づき、中学校統合に伴うスクールバス整備を行う。		へき地児童生徒援助費補助金を活用し、スクールバスを4台購入する。		事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備					中学校統合に伴うスクールバスの必要台数	
			②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度
組織名			学校教育 課		教育環境対策 係		単位	
事業期間	期間限定事業	会計	1 款	10 項	1 目	2	—	4
統合により、学校までの距離が長くなり、徒歩や公共交通機関等の利用では通学が困難となる。							台	
スクールバス等運行管理業務委託に基づいて受託関係者へ車両の適正な管理と配置を行い、生徒の通学等の負担軽減と利便性の向上を図りたい。								

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	小学校運営事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	69,641,109 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	小学校教育を充実させるための学校管理事業。		学校から予算にアラインを行い、他校との公平性(教育環境の平等)を確保しつつ、経費削減を行った。		事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備					学校数	
			②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度
組織名			学校教育 課		小・中学校事務 係		単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	2 目	2	6	6
児童数の減少、施設の老朽化を考慮しながら、他校との予算の公平性の確保。							校	
学校統合を見据えながら、引き続き適正な予算措置が必要。								

令和 4 年 7 月 14 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	中学校運営事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	43,934,417 円
施策体系	施策	20 学校教育の充実	中学校教育を充実させるための学校管理事業。		学校から予算にアラインを行い、小学校との公平性(教育環境の平等)を確保しつつ、経費削減を行った。		事業実績	
	基本事業	02 教育環境の整備					学校数	
			②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度
組織名			学校教育 課		小・中学校事務 係		単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	3 目	2	4	4
生徒数の減少を考慮しながら、小学校との予算の公平性の確保。							校	
引き続き適正な予算措置が必要。								

生涯學習課

施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 生涯学習課 課長 丸山 浩文	  
施策	21	生涯学習の推進	関係課		

施策の目的	対象		意図		基本事業名		対象		意図	
	町民		生涯を通じて自主的に学習する。	基本事業	1	学習意欲の高揚	町民		生涯学習への意欲や関心が高まる。	
					2	学習機会の充実	町民		学びの機会を得られる。	
					3	学習環境の整備	町民		学びの場を得られる。	
					4					

施策の基本方針	・情報発信媒体を活用し、学習の情報等を発信することで、学びの楽しさや必要性を啓発し、生涯学習への意欲や関心を高めます。 ・多様な学習ニーズを的確に捉えた学習機会を提供し、文化協会をはじめとする自主学習グループの活動支援を推進します。 ・公民館(図書室含む)やカルチャーセンターは、学びの拠点施設として生涯学習の推進において重要な役割を担っています。施設の整備や機能の充実を図り、町民誰もが生涯にわたって学習活動が行える環境整備に努めます。
---------	---

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合	%	実績値	25.4	28.7	32.7	28.8	27.4	27.1	
				目標値		25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
	B	公民館利用者数(行政利用を除く)	人	実績値	10,013	8,300	10,456	10,573	3,618	2,858	
				目標値		9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
	C			実績値							
				目標値							
	D			実績値							
				目標値							
	E			実績値							
				目標値							

指標設定の考え方	A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」「週に1回程度」「月に1回程度」「年に数回程度」と回答した人の割合 B) 公民館は学習活動の拠点施設と位置付けられており、その利用者は自らの教養を高めるために学習活動を行っている人達と考え、成果指標とした。中央公民館・水上公民館・新治公民館(B&G海洋センター会議室含む)の図書室利用者数と行政利用者数を除いた町内利用者数とする。主管課で実数を把握。
----------	--

目標値設定の考え方	A) 町民アンケートの結果から、生涯学習活動を行っている町民の割合は、20歳から39歳までの世代が高く、40歳以上は低いことが分かります。この低い世代の関心を引き出せる的確な施策の展開と、今後さらに増加する高齢者の学習意欲を保つことで、2017年度の数値 25.0%(町民の4人に1人)から毎年1%の増加を図り、最終年には30%(3人に1人)に近づけることを目指します。 B) 公民館は生涯学習を進める拠点施設として重要な役割を担っています。生涯学習に取り組む町民が増えれば、施設の利用者も増加するものと考えます。人口は毎年2%の減少が見込まれていますが、今後更に増加が見込まれる高齢者向けの講座開催や多様化する学習ニーズに応える既存講座の充実と、施設の利便性を図ることで、現状利用者数の維持を目指します。
-----------	---

施策のための目的・目標分担達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	・地域社会の環境向上や自己啓発につながる取り組みに積極的に関わり、生きがいとなるような活動を行う。 ・学ぶことの楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ・指導者となり、さらには後継者を育成する。	・学びのきっかけとして、気軽に参加できる学習機会を提供する。 ・生涯学習施設の計画的な整備と管理運営を行い、安全で利用しやすい環境を提供する。 ・生涯学習活動を行う人・団体の支援を行う。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	・県内35市町村のうち図書館の未設置自治体は、みなかみ町を含め12町村である。生涯学習活動を推進するうえで、図書環境の整備が必要となる。 ・高齢者の利用が増加するため、既存施設のバリアフリー化等、利便性の向上が必要となる。 ・文化協会では活動している団体の高齢化が進み、存続が危ぶまれる。 ・町民の学びに対する要求は、多種多様化し、町民のニーズを的確に把握しより充実した学習内容と学習機会の提供が求められる。 ・幅広い年齢の町民が経験や知識を活かし、生涯を通して学びの実践ができるよう、学習環境の整備・充実が必要となる。	・施設によっては利用者(特に障害者や高齢者)に不便であったり、利用できない施設もあり、バリアフリー化が望まれている。施設利用の解消策として、1階で学習できる場を確保し、提供をして欲しい。 ・自発的学習の拠点となるような図書施設の機能充実・利便性の向上が求められている。(図書システムの構築等) ・公民館の老朽化により、雨漏り等施設使用に支障を来している箇所の整備や洋式トイレの設置が求められている。 ・生涯学習フェスティバルで、生涯学習活動のPRや会員募集のため生涯学習活動についての展示やフロア発表を検討して欲しい。 ・支所公民館や遊休施設の有効利用を図って欲しい。

施策	21	生涯学習の推進	主管課	名称 生涯学習課 課長 丸山 浩文
----	----	---------	-----	----------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因	
	① 時系列比較	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☒ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①「日頃から生涯学習を行っている町民の割合」を年度比較すると、平成30年度は32.7%、令和元年度は28.8%、令和2年度は27.4%、令和3年度は27.1%となっていたが、数値の減少については、令和3年度末まで行われた中央公民館改修工事と新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため利用中止が要因。年代別の比較ではほぼ全ての年代で横ばいになっている。これは上記要因のため生涯学習フェスティバルをはじめとする生涯学習・文化事業の中止が相次いだためと考えられる。 ②公民館の利用者数は、令和元年度10,573人、令和2年度3,618人、令和3年度2,858人と減少の一途を辿っているが、これは中央公民館改修工事及び新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため利用中止が要因。	
		☐ かなり高い水準である。 ☒ どちらかといえば高い水準である。 ☐ ほぼ同水準である。 ☐ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①令和3年度の郡内公民館同等施設（公民館が無く文化会館）の利用者数を比較すると 町村名 利用者数 人口に対する利用率 みなかみ町 2,858人 16% 昭和村 3,405人 48%（公民館） 川場村 1,619人 51%（文化会館） ＊片品村については村民はカウントしていない ②生涯学習を行う上で、図書資料の充実は大きな比重を占めていると思われる。 県内で図書館の無い自治体は、35市町村の内みなかみ町を含め12町村である。図書室の1人あたりの蔵書冊数は、みなかみ町 3.4冊、昭和村 2.3冊、川場村 4.0冊、片品村 2.0冊で、郡内では若干高い位置にある。 ＊令和2年度図書館未設置町村公民館図書室の概況より（令和3年度版は6月10日時点でまだ出ていない）	
		☐ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☒ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合は、目標値29.0%に対し実績値27.1%で目標を下回った。ただし、生涯学習は多種多様であり、個人の意識にも違いがある。学習を行っている人と捉えている人、あくまでも趣味として楽しんでいる人など様々であり、アンケートだけでは捉えられない部分もあると思われる。 ②公民館利用者数は、目標値9,600人に対し実績値2,858人で目標を下回った。 各施設は、サークルの学習活動や各種会議等に利用されている。公民館別で比較すると利用状況に大きな差があり、特に水上・新治公民館の利用は主に会議が目的使用であり、講座や教室等の活用が少ない状況である。 令和3年度については、中央公民館改修工事と新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により利用できる期間が少なかつたことと、講座等が開催出来なかつた事が減少の要因となった。	

基本事業の成果指標	基本事業名		成果指標名		単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1	学習意欲の高揚	A	生涯学習フェスティバル参加者数	人	実績値	200	300	420	0	0	0	
						目標値		300	350	400	440	480	500
	2	学習機会の充実	B			実績値							
						目標値							
	3	学習環境の整備	A	生涯学習を推進するための講座・教室等の開設数	件	実績値	8	9	7	3	0	2	
						目標値		9	9	10	11	12	13
	4		B			実績値							
						目標値							
	3	学習環境の整備	A	図書室利用者数	人	実績値	5,707	8,613	10,256	10,258	9,564	5,438	
						目標値		5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400
	4		B	カルチャーセンター利用者数(全体/町民)	人	実績値	20,190/10,473	21,378/15,501	18,425/14,717	16,807/14,028	4,113/2,325	5,409/5,056	
						目標値		20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000
	4		A			実績値							
						目標値							
	4		B			実績値							
						目標値							

今後の課題と取り組み（案）	基本事業名		今後の課題		今後の取り組み（案）	
	1	学習意欲の高揚	①各種広報媒体を活用し、町民が必要とする生涯学習の情報提供や啓発が必要である。		①町ホームページ及び「生涯学習だより」「カルチャーセンターだより」の紙面充実を図る。	
			②町民の多様化するニーズに応えるため生涯学習講座・文化教養講座など、学びの機会を増やす必要がある。		①アンケートや社会教育委員の意見に基づく多様なニーズに対応した講座や教室を定期的に開催できるよう企画し、より多くの町民に学びの機会を提供する。	
			③自主的な学習活動を行う団体を支援し、指導者の育成を図る必要がある。		②地域の人材（ボランティア）を発掘し、指導者としての活用を進め、地域に根ざした学びの事業展開を進める。	
	2	学習機会の充実	④文化協会の高齢化が進み団体活動の維持が困難となってきた。		③文化振興補助金の活用を継続して促し、金銭的な面から活動支援を行う。	
			⑤公民館は地域の学習拠点として中心的な施設であり、環境整備が必要である。		④若い世代に文化団体の活動を周知し、加入に繋げる。	
			⑥カルチャーセンターの利便性の向上を図るため指定管理者と連携して運営する必要がある。		①中央公民館ではエレベーターおよびバリアフリートイレの設置、大会議室・会議室の改修工事を行った。利用者にとって使い勝手が大きく変わってしまったが、利用者の意見を聞きながら引き続き利便性向上に努める。	
	3	学習環境の整備	⑦図書室の管理と貸し出しの効率化。		②カルチャーセンター運営委員会を定期的に開催し運営に関わっていく。	
					③図書利用のシステム化を4カ所の内、カルチャーセンターと中央公民館が導入済み、新治公民館と水上公民館の残り2ヶ所の図書システムの導入を進める。	

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	社会教育委員事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	204,512 円
施策体系	施策	21	町の社会教育環境を検討、向上を目的として活動する社会教育委員の支援を行う。	コロナの影響で社会教育委員の活動も実施が難しい状況だが、令和3年度は4回の会議を実施した。	事業実績	
	基本事業	01			会議回数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	社会教育委員個人々の意識が高く積極的に活動が出来ている。	新しい生活様式に対応した社会教育事業を進める。	4	1 回

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	婦人会活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	308,155 円
施策体系	施策	21	婦人の地位向上に努め、豊かな人間性を培い、明るい町づくりに貢献することを目的に活動する婦人会の支援を行う。	会員相互の親睦を深め、地域の環境や生活の改善。コロナのため班ごとの小さな活動をすすめた。	事業実績	
	基本事業	02			会員数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	婦人会員も仕事をしている人が多いため、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるような雰囲気作りを心がける。	コロナ禍で大きな活動ができないときには、分会や班ごとの小さな活動をすすめる。	135	131 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	利根沼田文化会館運営費負担事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	42,424,000 円
施策体系	施策	21	利根沼田地域の福祉の増進と文化の発展に寄与するため利根沼田広域市町村圏連行整備組合で設置した文化会館の維持管理に要する費用を圏域市町村で負担するもの。	なし	事業実績	
	基本事業	03			施設利用回数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	課題なし	なし	9400	16,104 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 4 年 7 月 20 日更新)

事務事業	000004	文化振興事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,673,986 円
施策体系	施策	21	文化・社会教育の振興を図るため予算の範囲内で活動団体に対して補助金を交付し支援する。社会教育委員で構成する審査会で交付の審査を実施する。文化協会活動支援事業と統合。	令和3年度は2件交付することができた。	事業実績	
	基本事業	02			交付件数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	様々な社会教育団体があるが、中には補助金交付手続等の事務をほとんど行えない団体がある。	コロナで中止の可能性があるので、イベント関連の事業申請は慎重に審査する。	9	2 件

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 4 年 7 月 20 日更新)

事務事業	000003	おもしろ科学教室事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	9,000 円
施策体系	施策	21	生涯学習の推進	子どもたちの「科学する心」を育むとともに、青少年の学校外活動の充実を図るため、科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を実施する。	事業実績	実施回数
	基本事業	02	学習機会の充実			
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	特に問題なく良い活動ができているので、引き続きこの状態を維持していきたい。	今まで年2回行っているが、事業縮小のため、また他町村と合わせるため年1回にする。	0	1
					単位	回

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 4 年 7 月 20 日更新)

事務事業	000008	成人式事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	488,383 円
施策体系	施策	21	生涯学習の推進	新成人の門出を祝福するため成人式を開催する。	事業実績	参加者数・新成人数
	基本事業	02	学習機会の充実			
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	予算が少ないため、選べる講演企画に限られる。予算を掛けず、なおかつ地元に着目を持ってもらうためにも、出来るだけ地元の人材を活用したい。	成人年齢の引き下げに伴い、令和4年度から式典の名称を「成人式」から「二十歳の集い」に変更し、従来、財・教育委員会が中心となっていた運営だったが、対象者自身が企画運営する実行委員会形式に変更する。	126・182	139・172
					単位	人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 4 年 7 月 20 日更新)

事務事業	000005	生涯学習フェスティバル事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	48,197 円
施策体系	施策	21	生涯学習の推進	生涯学習に関連する気運向上を図り、関連団体の交流を促進する。	事業実績	協力者数・参加者数
	基本事業	02	学習機会の充実			
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	事業のマンネリ化を防ぐため、どのような団体に協力を依頼していくか選考が難しくなっている	状況を見ながら再開したい。引き続き社会教育委員に主管団体として運営に携わってもらい、多方面から団体の選考にあたる。	0	0
					単位	人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 4 年 7 月 20 日更新)

事務事業	000006	生涯学習講座事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	87,628 円
施策体系	施策	21	生涯学習の推進	住民の生涯学習活動の入り口としての講座を開設する。	事業実績	講座回数・出席者数(延べ)
	基本事業	02	学習機会の充実			
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 1	ニーズに基づきつつ、継続して学習できるメニューの選定に苦慮する。	令和3年度は全3回を計画したが、コロナの影響で2回の実施となった。	0	2・85
				コロナ対策をしっかりとつたうえで年3回以上は講座を実施する。	単位	人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	中央公民館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,449,538 円
施策	21	生涯学習の推進	中央公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。社会教育委員を含めた町内の様々な社会教育団体の事務局が置かれ、それぞれの事務を行う。	施設の改修修繕。 新型コロナウイルス等の影響により公民館活動実施不可	事業実績	
基本事業	03	学習環境の整備			公民館利用者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 2	他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。また、施設の老朽化により、修繕箇所が増加してきている。	施設の改修により、バリアフリー等より利用しやすい公民館に改善。生涯学習の拠点として利用促進を図る。	1941	1,351 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	水上公民館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,110,988 円
施策	21	生涯学習の推進	水上公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。	社会教育・文化活動の拠点として管理運営をしているが、コロナの影響により稼働日数が少なかった。	事業実績	
基本事業	03	学習環境の整備			公民館利用者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 2	施設の老朽化が目立ってきている。	社会教育団体の利用促進を図るとともに、老朽化が目立ってきたことにより、利用者の安全を考慮しながら随時修繕を検討。	2539	3,049 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000013	中央公民館改修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	88,438,900 円
施策	21	生涯学習の推進	エレベーターを設置し、大会議室の空調を整備することにより、高齢者や障害者等の利便性の向上を図る	現行の建築基準法との相違を沼田土木事務所建築係と協議し、12条5項報告を提出。それに基づき適合する為の工事を実施。	事業実績	
基本事業	03	学習環境の整備			発注件数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	期間限定事業	会計 1 款 10 項 5 目 2	中央公民館は大会議室、研修室が3階、図書室が2階にあるため高齢者や障害者等の利用に支障を来している。現行の建築基準法に適合しない場所がある。	工事内容・工期の変更等あったが、年度内にエレベータの整備が終了し、空調も更新することができた。	3	3 件

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	水上中部コミュニティセンター管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	242,936 円
施策	21	生涯学習の推進	水上中部コミュニティセンターの管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。	地域住民の健康促進の場となるよう管理運営。新型コロナウイルスの影響により活動実施できず。	事業実績	
基本事業	03	学習環境の整備			利用者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	施設は緊急避難場所になっているため、施設の老朽化に注意が必要である。	地域住民の健康促進、生涯学習の推進が図れるよう、安全な活用。	471	375 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000008		カルチャーセンター管理運営事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		28,753,403 円										
施策体系	施策		21		生涯学習の推進					センターの施設・設備及び児童図書室を適切に管理・整備し、生涯学習の推進に取り組む。				令和3年度から指定管理を開始し、コロナ禍の影響で利用数の減少などはあるが円滑に管理されている。				事業実績											
	基本事業		03		学習環境の整備													施設の利用者数・施設の利用回数 (全施設利用団体の累計)											
組織名				生涯学習 課			生涯学習 係					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策													
事業期間				継続事業			会計		1	款	10	項	5	目	3	なし				指定管理者に任せきりにならないよう、カルチャーセンター運営委員会を定期的に開催し運営に関わっていく。				令和 2年度		令和 3年度		単位	
																				4,113・185		5,409・185		人・回					

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000008		図書室運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		5,660,760 円				
施策体系	施策		21		生涯学習の推進				資料の購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行い、読書推進及び生涯学習活動の円滑化を図る。				カルチャーセンター、中央公民館図書室のシステム導入が終わり、一部運用が開始できるようになった。				事業実績					
	基本事業		03		学習環境の整備												②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策	
組織名			生涯学習 課			生涯学習 係			図書の実施を図る。4室共通の電算システムの導入により利便性を図る。				各図書室とも新システムによる電算化を進める。				令和 2年度		令和 3年度		単位	
事業期間		継続事業		金計		1 款		10 項									5 目		5		4,666	

施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	生涯学習課	
				課長	丸山 浩文	
施策	22	生涯スポーツの推進	関係課			

施策の目的	対象		意図		基本事業	基本事業名	対象	意図
	町民	生涯を通じてスポーツや運動に親しむ。	1	スポーツ意欲の高揚		町民	地域からスポーツや運動への意欲や関心が高まる。	
			2	スポーツ機会の充実		町民	スポーツや運動をする機会を得られる。	
			3	スポーツ環境の整備		町民	スポーツや運動をする場を得られる。	
			4					

施策の基本方針	・町民の多様なスポーツニーズにこたえ、身近な地域で気軽に運動に親しむ環境の整備を進めるとともに、生涯スポーツに触れる機会を創出し地域に根づいたスポーツの振興を図ります。 ・町民が、スポーツに「関心や興味を持ち・気軽に取り組み・自主的に継続できるよう」段階を追った支援に努めます。 ・主体的、継続的な競技スポーツを担うスポーツ協会の活動と、子どもたちのスポーツ振興を担うスポーツ少年団の活動を支援します。 ・既存体育施設の計画的な施設整備や改修、備品等の更新を進め、生涯スポーツの場の確保と利便性の向上に努めます。
---------	---

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合	%	実績値	45.5	44.9	47.0	48.2	51.0	43.9	
				目標値		52.0	50.0	51.0	53.0	50.0	55.0
	B	スポーツ協会加盟競技団体数/登録者数	団体/人	実績値	20/1,418	19/1,349	19/1,277	19/1,278	19/1,287	19/1,233	
				目標値		20/1,400	20/1,350	20/1,300	20/1,300	20/1,250	20/1,250
	C			実績値							
				目標値							
	D			実績値							
				目標値							
	E			実績値							
				目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	A)直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」「週に1回程度」と回答した人の割合 B)数値が変わらず推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課で実数を把握 ※みなかみ町スポーツ協会加盟団体数及び会員数
目標値設定の考え方	A) みなかみ町スポーツ推進計画(H25.4～R5.3)の目標である「週1回以上スポーツに取り組む成人の割合を55%以上とします」との整合性を図ります。この55%の根拠は、計画作成時の上位計画等を参考に設定を行いました。 B) スポーツ協会加盟団体の登録者数は、人口減や高齢化による減少と、退職をきっかけに時間に余裕の持てる世代が健康維持で運動を始めることを想定し、2022年までの成り行き値を1割減とした。

施策のための目的・役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	・スポーツや運動に関心を持ち、教室やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。 ・スポーツや運動の楽しさを広め、仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ・指導者となり、さらには後継者を育成する。 ・町のスポーツ推進計画に関心を持ち、今後町の進むべき方向性を認識し、できることに協力・参加する。	・スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動に取り組むきっかけと、機会の提供を行う。 ・体育施設の整備と管理運営を行い、スポーツや運動を行う場を提供する。 ・スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。 ・スポーツ推進計画を広く町民に周知し、町のスポーツに対する方向性を認識してもらう。 ・町のスポーツ関連団体のあり方を再度確認し、それぞれの特性を活かした団体の活性化・組織化を支援する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？
	・2022年度に国のスポーツ基本計画が策定される。 ・2020年度に群馬県スポーツ推進計画が見直し、2021年度からの新たな推進計画が策定された。 ・2022年度にみなかみ町スポーツ推進計画を見直し、2023年度からの新たな推進計画に沿って推進していく。 ・少子化が進み、スポーツ少年団の単位団の維持が困難になりつつある(特に団体スポーツ)。	・老朽化の進む施設が多く、修繕や設備の機能向上を求める要望がある。 ・子どもや高齢者が気軽に体を動かせる場の提供が求められている。 ・町教委等が主催するスポーツや運動に関する行事について、町民の半数以上はスポーツ等に親しむ良い機会と考えている。 ・町民アンケートでは、トレーニングジムやウォーキング専用コース、多目的に利用できる公園を望む回答が多い。また、医療費削減のため、健康教室やストレッチ大意槽教室などを定期的に実施して欲しい。

施策	22	生涯スポーツの推進	主管課	名称 生涯学習課
			課長 丸山 浩文	

実績比較		背景・要因
①時系列比較	☐ かなり向上した。	①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、令和2年度が51.0%、令和3年度は43.9%と減少傾向にある。これは新型コロナウイルス感染症拡大により、施設の閉鎖、活動自粛の影響を受けていると思われる。同様に「以前はしていたが、現在はしていない」と回答した人の割合は、令和元年度が22.7%、令和2年度が22.8%、令和3年度が23.9%と若干増加傾向にある。
	☐ どちらかといえば向上した。	
	☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態)	
	☒ どちらかといえば低下した。	
	☐ かなり低下した。	
②他団体との比較	☐ かなり高い水準である。	①国と比較すると、週1回以上運動・スポーツをしている人の割合は、令和3年度実績比較で、国56.4%に対して町は43.9%と大きく下回っており、各々の年代別で検証しても全ての年代で国を大きく下回っている。 ■みなかみ町 全体43.9%、20代51.4%、30代40.5%、40代40.6%、50代31.7%、60代45.1% ■国 全体56.4%、20代53.5%、30代50.7%、40代51.0%、50代51.7%、60代59.6% ②沼田市体育協会と比較すると、会員数・団体数共に沼田市は前年よりも減少しているが、みなかみ町は横ばいの状態を維持している。ただし、沼田市の減少はコロナ禍において各競技部の総会が開催できていないため、人数の把握が困難であると報告を受けている。 ■みなかみ町 (R2) 19団体1,287人 → (R3) 19団体1,233人 (54人減・前年比95.8%) ■沼田市 (R2) 31団体5,177人 → (R3) 32団体4,437人 (740人減・前年比85.7%)
	☐ どちらかといえば高い水準である。	
	☐ ほぼ同水準である。	
	☒ どちらかといえば低い水準である。	
	☐ かなり低い水準である。	
③目標の達成状況	☐ 目標値を大きく上回った。	①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、令和3年度43.9%と目標値50%には達しなかった。 ②スポーツ協会加盟団体・登録者数は、人口減少や高齢化及びコロナ禍に影響で、目標数20団体1,250人を下回っている。
	☐ 目標値を多少上回った。	
	☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。	
	☐ 目標値を多少下回った。	
	☒ 目標値を大きく下回った。	

基本事業の成果指標	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1 スポーツ意欲の高揚	A 地域スポーツ協会設置数	団体	実績値	1	1	1	1	1	1	
				目標値		1	1	1	2	2	3
		B スポーツ少年団の団数/団員数	団体/人	実績値	18/438	19/426	19/438	20/460	23/532	25/517	
				目標値		17/411	17/400	17/390	18/380	18/380	18/380
	2 スポーツ機会の充実	A スポーツ協会加盟団体の教室開設数	教室	実績値	43	43	48	48	46	43	
				目標値		43	43	43	44	44	44
		B		実績値							
				目標値							
	3 スポーツ環境の整備	A 体育施設利用者数	人	実績値	89,503	126,393	144,711	131,056	60,455	51,581	
				目標値		89,500	89,600	89,700	89,800	89,900	90,000
		B		実績値							
				目標値							
	4	A		実績値							
				目標値							
		B		実績値							
				目標値							

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
	1 スポーツ意欲の高揚	①スポーツ推進計画の目標「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合を55%以上とする」計画的に達成する。 ②スポーツに取り組む人の裾野を広げるため、地域のスポーツ活動を推進する組織の立ち上げが必要である。※月夜野地区→月夜野体育協会、水上・新治→組織なし ③少年期のスポーツ機会の創出(民間と連携)	①新しい生活様式を取り入れたスポーツイベントの企画をする。 ②町教委・スポーツ推進委員会を中心に地区体育委員と協力し、地域スポーツを推進する組織づくりを進める。 ③スポーツ少年団への支援を引き続き進める。
	2 スポーツ機会の充実	①生涯を通じ健康な生活を送るために、継続的にスポーツに取り組むが出来る機会を創出する必要がある。 ②スポーツの普及においてスポーツ協会の担う役割は大きい。活動の継続や維持が困難な団体もあり、協会の活性化が必要である。	①スポーツ協会及び関係部署と連携し、健康維持のため教室やスポーツイベントを開催する。 ②スポーツ協会加盟団体の教室や大会に誰もが気軽に参加できる体制を再構築する。競技性も重要だが、初心者でも参加しやすい協会を目指す。
	3 スポーツ環境の整備	①安全かつ継続的にスポーツが行えるよう、各体育施設の点検を進め維持管理を図る。 ②コロナ禍において、ひとりでトレーニングができるため各体育施設のトレーニングルームの利用者が増加した。施設整備や備品等の更新を順次行い、利便性の向上を図る必要がある。	①トレーニング機器や備品等の点検・交換を定期的に行う。 ②利用者の要望を真摯に聞き、計画的に整備・改修を進める。

令和 4 年 7 月 12 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	寺間運動公園管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	741,290 円
施策	22	生涯スポーツの推進	寺間運動公園の維持管理事業である。指定管理により、群馬スノーアライアンスが管理を行っている。	野球場のバックネット整備を行った。サッカー場がイノシシに掘られたため、直営にて整備を行った。	事業実績	
基本事業	03	スポーツ環境の整備			管理上の問題発生(対応)件数	
組織名	地域整備 課	都市計画 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 8 項 4 目 4	野球場等の施設が老朽化しており、修繕が必要である。	施設の老朽化が進行しているため、計画的な施設整備を検討する。	1	1
					単位	件

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	スポーツ協会活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,071,000 円
施策	22	生涯スポーツの推進	町民の体力の向上と親善・交流および社会体育の振興を図ることを目的としている任意団体の運営を事務局として支援する。スポーツ協会登録会員は登録競技団体・スポーツ少年団。	コロナの影響でスポーツ協会が主催する大会等が中止となったため思うような活動ができなかった。	事業実績	
基本事業	02	スポーツ機会の充実			協会主催・競技団体主催大会の事業数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 1	人口の減少により、特に団体競技の存続が厳しい。競技スポーツを普及する上でスポーツ協会の役割は大きく、協会の活性化は大変重要である。	コロナウイルス感染対策を講じたうえで活動をしていく。Web上で各競技部の情報を入手し、気軽に大会教室に参加できるシステムの構築。	29	5
					単位	事業

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	スポーツ推進委員会事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,456,422 円
施策	22	生涯スポーツの推進	町におけるスポーツの推進を図るため、スポーツ推進委員会を委嘱するとともに、事務局運営事務を行う。	コロナの影響により会議もイベントも例年通りには実施できなかった。	事業実績	
基本事業	01	スポーツ意欲の高揚			活動回数(会議回数)	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 1	委員が主体的となり、積極的に活動できる体制整備を整えていく必要がある。	コロナウイルス感染症が収束しないと活動は難しい。	3	1
					単位	回

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	スポーツ少年団活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	502,000 円
施策	22	生涯スポーツの推進	みなかみ町スポーツ少年団事務局業務また加盟する各スポーツ少年団の活動支援業務	コロナウイルス感染拡大につき、スタートコーチ(指導者養成)講習会が中止となった。	事業実績	
基本事業	02	スポーツ機会の充実			各スポーツ少年団参加児童数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 1	指導者資格が日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格に統一される。2023年11月までに指導者個人が移行手続きを行う。	スタートコーチへの移行サポートをする。中学校統合により、スポーツ少年団の活動にも動きが予想されるので、しっかりとサポートをし、団員減少をくい止める。	532	517
					単位	人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	スポーツ教室事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	238,737 円
施策	22	生涯スポーツの推進	子育て健康課と共催し、「おとなの運動教室」(40～64歳対象)を実施	少しでも興味を持ってもらえるよう、楽しみながら身体を動かすプログラムの設定。県内で活躍している指導者を起用。コロナ感染対策を徹底し、安心安全な教室を実施	事業実績	
基本事業	02	スポーツ機会の充実			スポーツ教室開催回数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 1	働き盛りの年代を対象とし、身体不活動の減少とクオリティ・オブ・ライフの向上が課題。	教室参加申込をWebで行えるシステムの構築。気軽に参加できる環境を整備。	単位	
					12	9 回

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	体育振興費補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	641,000 円
施策	22	生涯スポーツの推進	社会体育の振興を図る事業を実施する団体等に対し、予算の範囲内で事業実施に要する経費の一部を補助金により交付する。	コロナウイルス感染症のため実施事業が少なく、補助金申請は2件にとどまった。	事業実績	
基本事業	02	スポーツ機会の充実			申請(交付)件数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 1	事業を実施できる団体等の育成。	地区・行政区等で補助金を活用してもらえるよう周知をしていく。	単位	
					0	2 件

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000006	プール開放事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	184,580 円
施策	22	生涯スポーツの推進	毎年、学校等の夏休み期間中に新治B&G海洋センタープール及び桃野小学校プールを開放し、安全で安心して水に親しむ場所を提供。	コロナウイルス感染症のためプール開放は実施できなかったが、カヌー・SUP教室は感染対策をとって開催した。	事業実績	
基本事業	02	スポーツ機会の充実			利用者数・開放日数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 2	沼田市民プール、B&G海洋センター、桃小プール開放事業の連携を図り、利用者の利便向上を図る。熱中症や新型コロナ等の防疫対策。	桃野小は更衣室が狭いためコロナウイルス感染症が収束しないと実施は難しいが、B&Gのプールは感染症対策がとりやすく実施が可能。	単位	
					0	0 人・日

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	体育施設管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	26,404,667 円
施策	22	生涯スポーツの推進	新治中央運動公園野球場内野改修、ネットフェンス改修工事 新治中央運動公園井戸ポンプ交換工事 入須川社会体育館床修繕	施設利用者数	事業実績	
基本事業	03	スポーツ環境の整備				
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 2	関係者への説明・理解	体育施設維持計画に基づき、老朽化が著しい施設より順番に修繕にあたる。	単位	
					36,011	35,961 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	総合体育館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,561,649 円
施策	22	生涯スポーツの推進	みなかみ町夜野地区の体育施設の拠点施設で、臨時職員4名で日程調整をして、主に施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出業務を行っている事業。	バスケットゴール点検業務委託の継続実施。建築基準法に基づく定期点検の是正勧告に基づく修繕等実施。バレーボール審判台等老朽化した備品の更新。	事業実績	
基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設利用者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 2	月夜野地区体育施設のスポーツ器具・用具が老朽化しているため買い換えを進める必要がある。また、臨時職員4名体制であるが勤務は1名なので事務室内での事務しかできない。	老朽化した備品の計画的な更新の実施。老朽化した施設や、LED化等計画的に実施を検討する。	単位	
					13543	6,361 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	新治B&G海洋センター管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,781,906 円
施策	22	生涯スポーツの推進	新治B&G海洋センターの管理運営業務	コロナウイルス感染拡大につき、財団事業の中止が相次いだ。その変わりWebでのイベント実施が多くなり、積極的に参加し、3年連続特A評価となった。	事業実績	
基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設利用者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 2	資格の再登録を行う必要がある。資格取得者が他の部署であることから現在の職とB&Gの業務としてほしい。財団事業に積極的に取り組むことにより、ポイントが付き高評価につながる。	引き続き、財団事業への積極的参加をし、特A評価を獲得。大規模修繕を視野に計画していく。	単位	
					7,026	5,322 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	水上社会体育館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	607,310 円
施策	22	生涯スポーツの推進	施設の維持管理を行う事業。施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出を行っている。	コウモリ対策は有効な解決策がみつからない。雨漏りは原因が所が特定困難な状況。	事業実績	
基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設利用者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 6 目 2	雨漏りが発生する。コウモリが施設内に発生して苦情あり。	湖原地区整備計画が決まらなと整備が困難な状態。害虫駆除対策について、有効な解決策を検討し早期に解決を図りたい。	単位	
					5,173	4,334 人

施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 生涯学習課 課長 丸山 浩文	
施策	23	文化財の保存と活用	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町民 ②町内の文化財	①文化財に対する意識を高め、保存と活用を行う。 ②適切に保存される。	1 文化財の保存	①保存に携わっている人 ②町内の文化財	①積極的に保存活動を行う。 ②適切に保存される。
			2 文化財の活用	①町民 ②町内の文化財	①文化財に関心を持つ。 ②広く周知される。
			3		
			4		

施策の基本方針	・文化資産の総合的な把握と計画的な保存を進め、町民に文化財や伝統芸能に触れる機会を創出することで、文化資産を身近に感じ、郷土に対する理解と関心を高めます。 ・町内に残る多くの文化財や伝統芸能を引き続き適切に保護・継承するとともに、町内に眠る未指定の文化資産の調査を進めます。 ・文化財施設とそで行われる伝統行事を併せて保存するなど、文化資産の価値を高め活用につなげます。活用を行うにあたっては、その活用によって与える文化資産への影響を認識したうえで、関係各署と連携して広域的に検討を行います。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A 地域の伝統芸能に参加している町民の割合		%	実績値	8.5	19.1	18.3	17.9	17.2	13.5	
				目標値		8.4	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	B 指定文化財の数		件	実績値	102	103	103	103	103	103	
				目標値		103	103	103	104	104	105
	C 地域で継承されている伝統芸能の数		件	実績値	30	30	30	30	30	30	
				目標値		30	30	30	30	30	30
	D			実績値							
				目標値							
	E			実績値							
				目標値							

指標設定の考え方	A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能(祭りや神楽、獅子舞など)に参加する」と回答した人の割合 B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課で実数を把握 ※国、県、町の指定を受けている文化財の数 C) 直接的な設問であり、数値が維持できれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施
	A) 伝統芸能の本来の意味に賛同し、新たに継承に携わる人を確保するのは容易なことでは無い。少子・高齢化の進展により、携わる人が徐々に減少するのは必然と考える。しかし、前世より大切に継承されてきた伝統芸能を後世へ引き継ぐために、現在地域の行事に参加するなどし、少なからず興味を示している町民を繋ぎ止める取り組みを進めることで現状維持を目指す。 B) 経年とともに老朽化が進む文化資産を適切に保存できれば、現在の町内指定文化財103件の維持ができ、そのうえで未指定の文化資産の調査を進め、最終年度までに2件以上指定することで105件にする。 C) 教育委員会が把握している地域の伝統芸能(太々神楽・獅子舞等)は現在30件である。伝統芸能は一度絶やすと、復活が厳しのが現状です。いずれも後継者・財政面は厳しい状態ですが、補助金の有効活用や後継者育成に様々な工夫を凝らし、適切に保護することで、この30件を減らすことなく後世への継承を目指します。

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ・身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・活用協力する。 ・地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。	2. 行政(町、県、国)の役割 ・建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護・管理する。 ・後継者の育成を支援するなど、無形文化財の継承を推進する。 ・町民が郷土や歴史への認識を深められるよう、資料館の活用を図り文化財に関する情報提供・発信をするなど、普及啓発活動に取り組む。 ・文化財行政の枠にとらわれず、関係各署と連携して文化財の活用事業を展開する。
---------------	--	---

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？ ・文化財の老朽化が進行している。今後も定期的に補修していかなければならない。 ・人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少し、後継者の育成が困難な状態となる。結果として伝統芸能の減少へとつながる。 ・文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視という理由ではなく、あくまでも文化財保護を前提に、その条件をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方である。	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・月夜野郷土歴史資料館の開館日を増やし、展示内容を工夫して欲しいとの要望がある。 ・文化財の修繕や備品購入の補助に関する要望が寄せられている。 ・予算的な措置と併せて、後継者の募集・育成などに協力して欲しいとの要望がある。 ・町の伝統芸能は各地域で数多く伝承されており、その伝統芸能を町内で発表する機会をつくる必要がある。 ・町内には、まだ多くの貴重な文化財が存在しており、町指定文化財の拡充を図って欲しい。 ・エコパークの指定や戦国ブーム・国指定絹織物産地など自然、歴史、文化等に対する興味・関心が高まっているなかで、文化財の理解・保存・活用が「肩書される」。 ・町には、多くの遺産が残っているが、展示施設や博物館が充実していないため、学ぶ機会を阻害している。 ・町の遊休施設を有効活用し、みなかみ町の文化財や歴史遺産を広く発信すべきである。
-----------	---	--

施策	23	文化財の保存と活用	主管課	名称 生涯学習課 課長 丸山 浩文
----	----	-----------	-----	----------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☒ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①地域の伝統芸能へ参加している町民の割合は、平成30年度が18.3%、令和元年度が17.9%、令和2年度が17.2%、令和3年度は13.5%。目標値よりは依然として高いが減少傾向にある。これは新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの活動を自粛したことが要因と考えられる。 ②指定文化財数は、管理者を中心に地域の方々の協力のもと、平成29年以降103件を維持できている。 ③地域で継承されている伝統芸能の数は、平成28年以降30件が維持されており、指定文化財と同様に地域住民の努力により大切に継承されている。ただし、令和2年度・令和3年度はコロナのため神社の祭典等は行っていない。
		☐ かなり高い水準である。 ☒ どちらかといえば高い水準である。 ☐ ほぼ同水準である。 ☐ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は非常に多い。要因として、歴史的遺産を文化財指定するには、文化財調査委員や教育委員会の判断によることから、町民の歴史に対する意識が高いことがうかがえる。 また、一般的に街道沿いには文化財が多いことから、三国街道があったことも大きな要因と考えられる。 ※令和4年3月31日現在の各市町村の指定文化財数(単位:件) みなかみ町 国:8 県:22 町:73 計:103 沼田市 国:3 県:15 市:73 計:91 片品村 国:3 県:4 村:53 計:60 川場村 国:0 県:5 村:5 計:10 昭和村 国:0 県:2 村:19 計:21
		☐ 目標値を大きく上回った。 ☒ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☐ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①地域の伝統芸能に参加している町民の割合は、目標値の8.3%を大きく上回り13.5%であった。 ②指定文化財の数は、目標値の103件を維持できた。今後も文化財調査委員と連携し、地域に眠っている文化財の掘り起こしを継続していく。 ③地域で継承されている伝統芸能の数は、目標値の30件を維持できた。

基本事業の成果指標	基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1	文化財の保存	A 文化財の保護活動者数	人	実績値	672	705	1,616	271	241	201	
					目標値		650	640	630	620	610	600
			B 適切に保存される文化財の数	件	実績値	102	103	103	103	103	103	
					目標値		103	103	103	104	104	105
	2	文化財の活用	A 資料館の入館者数	人	実績値	1,164	960	1,009	964	897	214	
					目標値		1,050	1,000	950	900	850	800
			B 文化財の見学者数	人	実績値	68,331	21,684	26,470	29,236	18,818	12,318	
					目標値		22,000	22,000	22,000	21,500	21,500	21,000
	3		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							
	4		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名		今後の課題	今後の取り組み(案)
	1	文化財の保存	①文化財は時代の経過と変化する社会情勢の中で、遺失・風化・管理者不足・老朽化等諸課題が懸念されている。計画的な保存と普及活動を進めることが必要である。 ②伝統芸能・文化は過疎化や高齢化に伴う後継者不足、時間の経過による道具等の損傷により、その継承や保存は容易ではないため支援が必要がある。	①重点的な修繕を必要とする国指定重要文化財・旧戸部家住宅屋根改修事業は、湯原地区公共施設最適化計画が策定され次第事業に取り掛かる。 ②展示物や所蔵している物品のデータベース化を行う。 ③保存会活動に積極的な古馬牧の人形浄瑠璃、羽場日枝神社の獅子舞等については財政的・事務的な支援を行い、より確実な後継者育成・普及に努める。 ④伝統文化の保存・継承に向けた支援・助言を行う。
			①文化財は保護を最優先に、一過性では無い恒常的な観光・学習資源として活用を図る施策が必要である。 ②町内の資料館は展示方法に変化が無く、定期的に展示替えを行う等の工夫を凝らす必要がある。 ③文化庁から全自治体に「文化財地域活用計画」の策定を求められている。	①町歴史ガイドの会や関係部署等と連携し、観光資源として文化財の活用を進める。 ②月夜野歴史民俗資料館の展示替えを継続するとともに、町内に点在する資料館等の統合計画も検討し、文化財の活用を図る。 ③学校や町民に対し、パンフレットや資料の利用を促し、文化財への関心を高める。 ④利根商業高校の生徒と連携して、名胡桃城址の郭ごとのジオラマ作成を継続して行っていく。
	3			

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	月夜野郷土歴史資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,334,251 円
施策体系	施策	23 文化財の保存と活用	月夜野郷土歴史資料館の管理運営	三国路と謝野晶子紀行文学館から資料を借用して企画展示を行った。さらに、常設展示も展示替えを行った。	事業実績	
	基本事業	02 文化財の活用			来館者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	展示内容が開館時よりほとんど変わっていないので、展示替えを行う。	企画展示、展示替えを毎年行い、展示内容のマンネリ化を防ぐ。	336	214 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	水上歴史民俗資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	29,042 円
施策体系	施策	23 文化財の保存と活用	水上歴史民俗資料館の管理運営	老朽化により壁が剥離、落下したため休館している。	事業実績	
	基本事業	02 文化財の活用			来館者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	観光部門との連携、より一層の展示内容の工夫が必要。	湯原地区整備計画の方針が出るまで改修の予定なし。	561	0 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 4 年 7 月 20 日更新)

事務事業	000003	雲越家住宅資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	319,103 円
施策体系	施策	23 文化財の保存と活用	雲越家住宅資料館の管理運営	令和3年度はコロナのため開館しなかった。学校の団体だけ開館した。	事業実績	
	基本事業	02 文化財の活用			来館者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	地域住民の協力と観光部局との連携	従来から来館者の少ない資料館だが、施設維持管理のため定期的に空気の入れ換え等を行う。	54	150 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	永井宿郷土館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	500,000 円
施策体系	施策	23 文化財の保存と活用	永井宿郷土館の管理運営を永井国指定管理に出している。	なし	事業実績	
	基本事業	02 文化財の活用			来館者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	課題なし	なし	336	269 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	県博物館連絡協議会参画事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,000 円
施策	23	文化財の保存と活用	群馬県内における公設・私設資料館および美術館等の連絡協議会事務。	なし	事業実績	
基本事業	02	文化財の活用			入館者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	課題なし	月夜野郷土歴史資料館管理運営事業に統合	336	214
					単位	人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 4 年 7 月 20 日更新)

事務事業	000006	猿ヶ京開所資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,183,101 円
施策	23	文化財の保存と活用	猿ヶ京開所資料館の管理運営	特になし	事業実績	
基本事業	02	文化財の活用			入館者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 3	茅葺き屋根の一部が劣化している。	茅葺き屋根については、一度に全面葺き替えのような大規模な工事によると莫大な費用がかかるため、毎年少しずつ部分葺きを行って修繕していく。	1115	703
					単位	人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	文化財保護総務事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	121,947 円
施策	23	文化財の保存と活用	文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。	特になし	事業実績	
基本事業	01	文化財の保存			資料館(月夜野郷土歴史資料館・雲越家住宅資料館・猿ヶ京開所資料館・永井宿郷土館)見学者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 4	課題なし	特になし	951	1,336
					単位	人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	文化財啓発事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	128,812 円
施策	23	文化財の保存と活用	従来は文化財の保護が重視されていましたが、近年は活用も含めた施策の展開が求められています。この啓発事業により観光資源としての活用を含めた啓発事業を行う。	利根商・観光商工課と連携して高校生に名胡桃城址のジオラマを作製してもらった。	事業実績	
基本事業	02	文化財の活用			名胡桃城址来場者数	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 4	活用に限っては、一過性ではなく恒常的な活用を進めることが求められます。	地元の方々に文化財を身近に感じてもらうため、利根商でのジオラマ精製活動を継続する。	16,470	11,438
					単位	人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	町指定文化財管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	378,129 円
施策	23	文化財の保存と活用	文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、73件のみなみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。	なし	事業実績	
基本事業	01	文化財の保存			月夜野郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している)	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 4	課題なし	なし	336	214 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	県指定文化財管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,046,433 円
施策	23	文化財の保存と活用	文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。	なし	事業実績	
基本事業	01	文化財の保存			主な文化財の見学者数(名胡後城址)	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 4	課題なし	なし	16,470	12,049 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 4 年 7 月 20 日更新)

事務事業	000001	国指定文化財管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,593,201 円
施策	23	文化財の保存と活用	文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、町内には8件の国指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。	湯原地区整備計画の方針が出るまで旧戸部家住宅は屋根をビニールシートで覆って対応している。	事業実績	
基本事業	01	文化財の保存			主な文化財の見学者数(雲越家住宅・旧戸部家住宅)	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 4	旧戸部家住宅は保護のため茅葺き屋根を葺き替えないといけないが、所在地の湯原地区の整備計画に合わせて計画を進める必要がある。	建物の現状を考慮すると、湯原地区整備計画を待たずに改修することを検討する。また、雲越家住宅も茅葺き屋根の傷みが見られるようになってきたことから5年10年のスパンでの改修計画を策定する。	561	150 人

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	埋蔵文化財調査事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	160,600 円
施策	23	文化財の保存と活用	埋蔵文化財包蔵地で開発が行われる場合に、事前に試掘調査を行う。	令和3年度は2回の試掘調査を実施した。	事業実績	
基本事業	01	文化財の保存			埋蔵文化財包蔵地確認(照会)	
組織名	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和 2年度	令和 3年度
事業期間	継続事業	会計 1 款 10 項 5 目 4	いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備しておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならぬ。	今後も周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発事業があることが考えられるため、常に調査研究を行い発掘調査に備える。	46	18 件

5. 学識経験者の意見等

1. 学校教育関係 委員との質疑を意見として整理

【 学校教育の充実 】

- 中学生海外派遣事業の見直しとあるが、内容的にどのような見直しになっているのか。なるべく多くの中学生を参加させられるよう検討されているのか、また、事業の目的が観光旅行になっていないか

(説明) 今まで、タイ・カンボジアと台南市の2箇所に行っていたが、姉妹都市である台南市への一本化に決定した。日程や実施する学年等詳細については、まだこれからの検討になる。予算等の関係もあり、全員参加は厳しいと思われる。教育委員会の中でも現地の中学生との交流を増やすなどのご意見をいただいている。令和3年度は、タイ・カンボジアと台南市の2箇所を予定していたが、コロナ感染の影響で中止になった。令和3年度の総合教育会議において、今後のことを考え一本化を決定した。コロナ感染の関係で出入国が非常に難しい状況が続き、令和4年度も計画が定まらないまま中止となった。ご指摘のあったご意見や目的を明確にし、政治情勢の関係も考慮し、安全安心に充実した活動になるよう充分考えて、行っていききたいと思う。

(意見) 台南市とは、町として経済的・観光的な目的で交流をしてるが、中学生が台湾へ行く目的として大事なことは、交流だけではなく、勉強してくることだと思う。何を勉強してくるのかははっきりして、その体験を活かしていけるような派遣にしてほしい。台湾の情勢も厳しい状態にあり心配だが、事業が1本化されたことは良かった。また、1人でも多くの生徒が参加できるよう自己負担額への配慮をお願いしたい。

■ GIGA スクールの進捗状況は

(説明) 令和3年度については、タブレット・電子黒板などの機器が配備されて、使い始めた年度になる。機器等に慣れることを主眼にしてきたが、今後は、授業等への利活用について進めて行く予定である。

(意見) 教職員も大変だが、児童生徒のために引き続きGIGAスクール推進のための取り組みをお願いしたい。

■ 学力向上の問題について、目標値の考え方は如何か

(説明) 学力向上については、N R T検査で5段階評定があり、そのうちの3～5の段階にいる子の割合の目標を表している。それが下がっていると言うことは、1～2の子が増えていることになる。非常に分かりにくいので、令和5年度からは、50を基準にし、一目瞭然に分かるようにしていく予定である。

学力向上のために(学校に)お願いしていることは、日々の授業の積み重ねが力になるので、探究型学習を掲げている。I C Tを活用しさらに学力を高めた方が良くとのこと意見だが、国の調査で、I C T活用と学力向上は相関関係はない。ただ、I C Tが使えなければ、これからの世の中通用しないため、道具として使えるようにしていくことが令和3年度の目標であり、それを使いながら良い授業を通して、学力を上げていくことである。

(意見) 現状を向上するのも、維持することも大変なこと。維持ができていると言うことは、頑張ってくれていると思う。今後、現在の目標値を上げていくなど、高みを目指していく方向性を考えていく必要があるのではないかと。

■ 体力の低下については小中ともに落ちている。現状認識は如何か

(説明) 体力の低下について、ご指摘のとおり、小学生はコロナ禍でも良好であったが、中学生がやや全国平均を下回っている。懸念しているのは、肥満度。みなかみ町では、全国に比べると10ポイント以上も高かった。小学校では、業前・業間に工夫して、運動量等を確保しているが、中学校は、コロナ禍で部活動が制限されていたことが、影響していると思われる。部活頼みではなく、基本の教科体育や業間の中で工夫していくとのこと意見は、参考にさせていただく。

(意見) コロナ感染の影響とか部活の関係とか言われているが、教科として教えられている体育が大事であり、部活だけに頼らないで、体力の低下を防ぐ対策が必要になっていると思う。

■ 教職員の心身の健康管理や職場環境の状況を教えてほしい

(説明) 令和3年度の行政方針には入っていないが、I C Tの活用の関連で、職員室内での教え合いがあり、コミュニケーションが高まり、良い関係が出来てきている。

(意見) 勤務時間の上限とか温かい職場かどうかの人間関係が、非常に大きな割合を占めていると思う。ストレスチェックを実施されているが、対面を気にする先生方も多くいる、オープンになれる人間関係が、良くできている職場にならないと、見つけるのが非常に難しいと思う。温かい職場の雰囲気作りが特に大切である。

■ 特別支援学級の関係について、特別な支援を必要とする児童生徒の割合が増えてきているが、対応が追いついているか

(説明) 特別支援について、適切に指導できる教員の確保が難しくなっている。ベテランの先生が定年退職されていくため、今後適任と思われる先生に勉強してもらい、周りもそういった環境を作って育てていくようにしていかなければならないと考えている。補助教員兼支援員の制度は、少し人数が増え、ある程度のレベルの維持がされている状況である。

(意見) しっかりと指導できる先生が必要になり、補助ができる支援員の方の確保も必要になる。幼稚園と小学校の連携、小学校と中学校の連携をしっかりと、早い段階で対応していくことが大事だと思う。

■ いじめ・不登校の状況は如何か

(説明) いじめ・不登校の対応について、いじめについては、いじめにより学校へ来られなくなったという事案は、教育委員会としては認識していない。未然防止として、温かな学級作りを掲げて指導を行っている。不登校については、要因や主な理由は、本人の漠然とした不安が多く、学校と家庭を切り離さないように、家庭訪問をしたりケース会議をしたりして繋げている。小学生が、益々増えてきている状況がある。接し方とか刺激の仕方とか難しい状況で、スクールカウンセラーや専門の方々と連携を取りながら、対応をしているところである。

(意見) 時代とともに、親の考え方も変わってきている。社会風潮も手伝って、嫌なら無理に行かなくても良いと行かせなくなったのも要因の一つであると思う。先生だけでは、対応が難しく負担も大きくなってきている。スクールカウンセラーをはじめ、関係機関等とさらに連携していく必要があると思う。

■ ユネスコエコパークの登録を受けて、SDGs を考えた町全体の構想の中で、教育部門は何をするのかという所を担うのか明確になっているのか。

(説明) ユネスコエコパークにかかわる活動は、SDGs の取り組みとして、町総合計画の施策事業に位置づけて、町として取り組んでいる。現在、ユネスコスクールの活動に各学校で実施している活動を結びつけて、認定を受けるための手続きを進めている。昨年、桃野小学校が町内の学校ではじめて認定を受けた。

教育行政方針の中で特に取り上げているのは、環境教育の充実の中でユネスコエコパークの推進を取り上げ、それとリンクするSDGs の「陸の豊かさを守ろう」と言う項目を意識して実施していくことを働きかけている。ユネスコエコパークが町の特色になっていて、それを活かした環境教育を中心とした地域学習の実施の働きかけをしているが、細かい計画は作っていない。

町で実施している谷川岳エコツーリズム、環境学習発表会、赤谷プロジェクト等は、直接地域のユネスコエコパークに関係することなので、積極的に参加するようお願いしている。

(意見) ユネスコエコパークの教育的活用を各学校に推進して欲しいと働きかけているということが理解できた。何をすれば良いか、学校教育部門で考え共通して実施していくことを考える必要があると思う。環境教育のひとつとして、ユネスコエコパークを扱えば、ユネスコエコパークの構想が理解できるようになると思う。

■ 他の意見（以下、意見のみ）

- ・ 学力の標記が分かりにくい、数字だけ見ると良いように見える。子供の姿・実態が分かるような数字をしっかりと追っていくことが、対策をとるために必要になることだと感じた。
- ・ 体力向上について、コロナ感染の影響によることは県や全国も同じ状態のため、それに対して低いと言うことは、みなかみ町がよほど低いのだと思った。子供たちの 20 年・30 年先を考えると何か手を打たなければいけないと思う。幼児教育から始まり、長いスパンで育てていく必要があり、そのためには、家庭だけではなく、教育委員会や町でバックアップしていくべきだと考える。
- ・ 部活動指導者について今できることは、協会とかと密に連携を取り、働きかけていくことだと思う。
- ・ 教職員のストレス・病気等について、学校経営でも、かなりの柱になっていると思う。年休が取りやすい職場にすることも、ひとつの手段であり、支援員や図書司書を配置することで、負担の軽減にもなると思う。

- 先生方の健康の問題の中に、大きな比重を占めているのは、問題を提起する親・子供の問題行動・いじめの問題とか不登校の子供を抱える先生、これらの負担が大きいことだと思う。なかなか解消されないのも問題だし、解消策がないのも問題だと感じた。
- 朝日新聞に掲載されていた対談記事から、「学校現場は本来、教員や生徒たちにゆとりがあって、生き生きと主体的に、勉学や課外活動に取り組む場であるべきだ。」「教育において最も大事なことは、生徒に良い刺激を与え、知的好奇心や勉学への意欲を育むことである。そのためには、知識やノウハウより、研究や専門分野に取り組む姿勢を伝えることが大事である。」「今は時代の流れに合わせて、新しい教科や科目が加わり、教員の負担が増えている。教員が一人一人の生徒にじっくり向き合えなくなったら本末転倒です。」とあり、そのとおりだと思ったので意見として紹介したい。

2. 生涯学習関係 委員との質疑を意見として整理

【 生涯学習の推進 】 及び 【 生涯スポーツの推進 】

■ 40歳以上の生涯学習活動を行っている割合が低いとあるが、運動の取組に関しては、40～50歳は良い。その辺の細かいデータはあるか

(説明) 町民アンケートの結果を使用している。本調査は年齢を区切って実施している。

(意見) 年代によってニーズが違い、当然解決法も違ってくるので、その辺をしっかりと把握して、対応をしていく必要があると思う。

■ トレーニングジムやウォーキングコースの設置の要望があるなら、予算を付けて設備を充実させるなどの対策は考えているか

(説明) 令和3年度は無かったが、令和4年度はウォーキングコースをテスト的に悪戸矢瀬線に1箇所作った。まだ周知が不十分。来年度以降の話になるが、コロナ感染の影響で町民体育祭が実施できていない状況なので、それに代わる事業としてウォーキング等を取り入れるよう、当初予算で要求していきたいと考えている。

(意見) そういった事業について、予算はどこかに載っているか、わかりやすく周知してほしい。

■ 体育施設の内容と事務事業の課題と解決のために取り組んだ結果と、今後の方針・解決が前年度とあまり変わりが無いように感じる

(説明) 令和3年度については、大きな変化がなかった。本来、その年にやらなければならない課題を書くべきだが、永遠の課題が書いてあり、若干の修正はあるがチェック不足の状況になってしまっている。バスケットゴールについては、令和4年度に交換をしているので、来年度の点検評価には変更を反映したいと思う。

(意見) ここ数年、実施していることは毎年違っていると思われるが、目標の見直

しが必要であると思う。(表現方法などを見直す) 予算は違うが、内容が同じ。コロナ禍になり、いろんなことが変わってきているので、それに合わせて、ネットワーク良く実施してほしい。

【文化財の保存と活用】

■ 文化財保護総務事業について、入館者数の数字が合っていない。重要な数値なので正しく表記してほしい。文化財の活用欄に、「文化庁から「文化財地域活用計画」の策定を求められている。」とあるが、どのようなものか

(説明) 施策を取り巻く状況の文中に、「文化財は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視という理由では無く、あくまでも文化財保護を前提に、その条件をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方」とあり、これが「文化財地域活用計画」の説明になると思う。文化財自体が、今までは保存を優先としていたことが、これからは、活用も検討しなさいという方向になり、正式に文化庁から計画を立てるように通知があったところである。

現在、指定文化財の数については、増やす目標になっているが、文化財調査委員会の中で、103のうち、すでに形状を成していないものもあり、精選しなければいけないのではないかとの意見もある。目標設定はしてあるが、適性に維持・管理をして活用する方に力を注ぐ必要があるだろうという意味である。

(意見) 新しい取り組みを行う時に、何故なのか、どのようなメリットがあるのかなどが分かれば、やり甲斐も生まれ大切なポイントもしっかり押さえられると思う。

■ 今までの物を、考え方のちょっとした違いで精選して切り捨ててしまったら、大切な資産がなくなってしまうので、何かの形で残すように出来ないのか

(説明) 精選すると言ったが、実際には、原生林とかほぼ消滅状態のものを対象にされていて、適切に対処する方が良いと言う意味である。

■ 伝統芸能などは、どのようにしていけば残していけるのか、どのように後継者を育てていけるのか、ビジョンはあるか

(説明) 伝統芸能の保存という観点で、なるべく絶えないように、映像にして残すようにするなどの対策を担当の方で既に進めている。本当に絶えてしまった時に、映像だけで分かるのかは難しい問題なので、後継者を育てるために、専門の方を講師として呼んで指導してもらうなどの取り組みは大切なことだと考えている。

(意見) 光を当てる場を作ることは大切なことだと思う。映像で残した物を観てもらい反響があつて良かったと思えるような場があると、少しは続くのではないか。人とお金の問題で解決に繋がればよいと思う。今後も、関係者の方々と町で、相談をしながら考えていかなければいけないと思う。

■ 他の意見 (以下、意見のみ)

- ・ 3ヶ町村がひとつになった時に、文化財の数が3倍くらいになったのではないか。それを1町で持つのは大変なこと。まず整理をして、その上で廃棄する物・活用できる物を分けていかなければ、宝の持ち腐れになってしまい、誰も手を付けられない状態になると思う。文化財保護委員さんに把握をしてもらい、今後どうしたら良いのか対策を立てていくことが必要だと思う。文化財を観てもらいやすい方法は、観光商工課とも連携を取り、受け入れる態勢を整えたら良いと思う。
- ・ PTAとか婦人会が、少しずつ消えていっている。PTA活動も子供会活動も停滞している。社会教育の立場から、把握し考えていってほしい。
- ・ PTAとか婦人会も、世の中の個人主義的な考え方に影響されてきているように思う。PTAの本部役員をした人達からは、経験をしてメリットを感じたから、良かったとの意見を聞く。良い事や役に立つことのPRをもっと行って、体験を広めていけたら良いと思う。
- ・ コロナ感染症の影響で、社会教育で実施する行事等が出来なくなってきたり中止になったりしている。これからも、続いていく可能性がある。このままの状態を続けていって良いのか心配。計画する方も参加する方もモチベーションが上がらず、復活が大変になるので、今のうちに対策を考えておく必要があると思う。スポーツ少年団や生涯スポーツの関係も、これまでの在り方では刺激が少なく、プロの指導者を呼ぶとか、子供たちに夢を持たせ、活性化していく必要があると思う。
- ・ 「断えず考える」の考えを取り入れたことは非常に良いと思う。考えることの大切さは人間だからできること。どう広めていくのが良いか、具体的にしながら、方針に則って進めて欲しいと思う。

コンピューターやA Iを操れるのは人間だと、思えるような人間を育てて欲しいと感じた。

- ・ 点検・評価の開催時期を見直しすべき。実績と評価日がかかけ離れており、次年度への意見等の反映が難しくなるのではないかと思う。新年度のはじめぐらい開催できないか検討をお願いしたい。

教育委員会の点検・評価報告書
(令和3年度事業対象)

令和4年度3月発行

編集・発行 みなかみ町教育委員会
〒379-1393
群馬県利根郡みなかみ町後閑318番地
TEL 0278-62-2275

